

北秋田市スポーツ推進計画

(平成30年度～32年度)

スポーツを通じて市民が健康で活力のある元気な北秋田
～ライフステージに応じたスポーツの推進～



北秋田市教育委員会

第1章 北秋田市スポーツ推進計画策定概要

1	計画策定の趣旨	1
2	計画の位置付け	2
3	計画の期間	3

第2章 本市を取り巻くスポーツの現状と課題

1	運動・スポーツの現状と課題	4
2	運動・スポーツの実施状況	5
3	体育施設の状況	12
4	スポーツ推進委員の役割と現状	15

第3章 目指す姿と基本目標

1	目指す姿	16
2	基本目標	17

第4章 施策の展開

1	スポーツ環境の充実	18
2	生涯スポーツの推進	19
3	スポーツを通じた地域活性化	20
4	競技スポーツ（競技力）の向上	21

資料

1	各委員名簿	22
2	アンケート結果	
	スポーツ推進に関する市民意識調査結果	23
	スポーツ推進に関する児童・生徒意識調査結果	31

第1章 北秋田市スポーツ推進計画策定概要

1 計画策定の趣旨

本市では、平成17年3月22日の市制施行以来、合併前の旧町におけるスポーツイベントの継続開催をはじめ、北秋田市体育協会によるスポーツ賞の表彰、スポーツレクリエーションを開催するなど市民の体力向上と健康づくりに向けた施策を「北秋田市総合計画」や「北秋田市スポーツ振興基本計画（平成25年度～平成29年度）」に基づき行ってきました。

しかし、近年、情報社会の進展による生活様式の変化、少子高齢化・核家族化を起因とした地域社会の空洞化による、地域コミュニティ及び人間関係の希薄化などはスポーツ活動への参加意欲の低下やスポーツイベントへの参加者数の減少をもたらしております。

こうした中で、平成23年8月には、「スポーツは世界共通の人類の「文化」であり、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは全ての人々の「権利」である」と明示した『スポーツ基本法』が施行され、地域の交流促進に寄与するスポーツの視点や障害者スポーツの推進などが掲げられ、地域社会の中で誰もがスポーツに親しみ、楽しむための施策を推進することが求められるようになりました。

それを受け、国においては平成24年3月に第1期スポーツ基本計画が、平成29年3月には第2期スポーツ基本計画が策定されました。

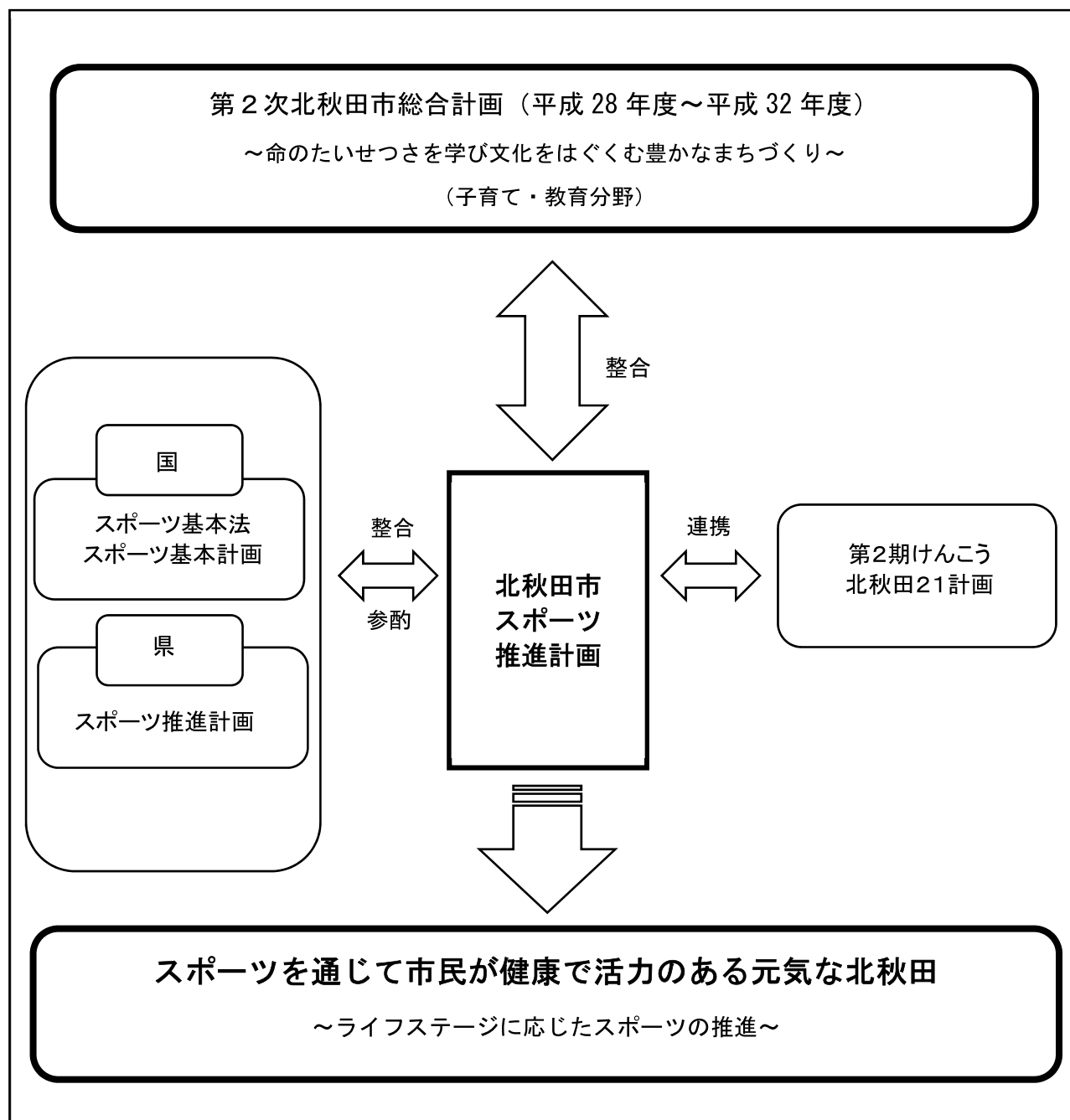
また、秋田県においては平成21年に宣言した「スポーツ立県あきた」により平成22年から20年後の目指す姿を「スポーツを通じてすべての県民が幸福で豊かな生活を営む元気な秋田」とし、第1期にあたる「秋田県スポーツ振興基本計画」、第2期にあたる「秋田県スポーツ推進計画」が策定されました。

全国的に「東京オリンピック・パラリンピック2020」によるスポーツに対する関心が高まってきていることや、本市のスポーツ活動の現状から、これまでのスポーツ施策の課題を整理し、これまでの「北秋田市スポーツ振興基本計画」の成果を活かし、スポーツの持つ可能性を最大限に発揮できる施策を推進していくため「北秋田市スポーツ推進計画」を策定するものであります。

スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことで全ての市民が楽しさや喜びを享受できる北秋田市の実現と北秋田市総合計画に掲げる目標の達成をめざします。

2 計画の位置づけ

本計画はスポーツ基本法第10条に基づく計画であり、国の「スポーツ基本計画」及び「秋田県スポーツ推進計画」参酌・引用し、本市の「第2次北秋田市総合計画」の施策目標達成に向け整合性を保ち、実情にあわせ策定するスポーツ推進の基本的な計画です。



3 計画の期間

本計画の期間は、本市の新たなまちづくりを実現するための「第2次北秋田市総合計画 前期基本計画」に合わせ平成32年度までとしております。ただし、平成33年度以降の計画については「第2次北秋田市総合計画 後期基本計画」の策定、または進捗状況や社会情勢の変化に応じて計画の見直しを行い、必要に応じて計画を変更し充実を図ってまいります。

H25 2013	H26 2014	H27 2015	H28 2016	H29 2017	H30 2018	H31 2019	H32 2020	H33 2021	H34 2022	H35 2023	H36 2024	H37 2025
国：スポーツ基本計画 (H24～H28)				国：第2期スポーツ基本計画 (H29～H33)								
基本 計画	秋田県スポーツ推進計画 (H25～H29)			秋田県第3期計画 (H30～H33)				秋田県第4期計画 (H34～H37)				
	北秋田市総合計画 (H18～H27)			第2次北秋田市総合計画（前期） (H28～H32)				第2次北秋田市総合計画（後期） (H33～H37)				
北秋田市スポーツ振興基本計画 (H25～H29)												
				当該計画 (H30～H32)				見直し（H33～）				

第2章 本市を取り巻くスポーツの現状と課題

1 運動・スポーツの現状と課題

本市では、市や各種競技団体によるマラソン・卓球・バスケットボール等の競技大会や老人クラブや愛好会によりパークゴルフ・ユニカール等のニュースポーツの大会が、冬期には雪国における地域特有の各種スキー大会の開催など、1年を通して様々なスポーツ大会が開催されています。

市のスポーツとしては、駅伝やフェンシング、ソフトテニス、スキー競技など、市内中学校や高等学校、または地元出身の大学生・社会人による全国大会等での活躍は市民へ夢と希望、そして元気を与えてくれます。

現状として本市では、スポーツ推進委員や健康保健事業によるスポーツや健康づくりに関する諸事業を展開していますが、平成29年10月に実施したアンケート調査によると、北秋田市の18歳以上の方の1週間に1回以上のスポーツ実施率は34.7%で全国平均の42.7%を大きく下回っており、健康志向の高まりや、気軽に運動・スポーツを行う活動環境が増加しているにも関わらず、実施割合が少ないという結果から、運動・スポーツに親しむ「きっかけづくり」が求められています。

また、平成26年度より学校体育から社会体育への移行事業を開始し、スポーツ少年団組織の強化を図ってきました。保護者の負担軽減を図るためスポーツ少年団への活動補助や全国大会等へ出場する団体・個人への補助金等の交付事業を展開しておりますが、人口減少や少子高齢化により団体競技においては必要人数を確保することが困難な状況になりつつある現状から子どもがスポーツに楽しさを感じ、取り組むことができる機会の充実を図る必要があります。

高齢者スポーツにおいては、総合型地域スポーツクラブや老人クラブにより各種大会が実施されていますが、介護予防のための運動処方が求められるなどニーズが多岐にわたっていることから、年代や世代にあった運動・スポーツに関する情報提供等により、いつでも、どこでもスポーツに取り組むことができる環境の充実を図ることが必要です。

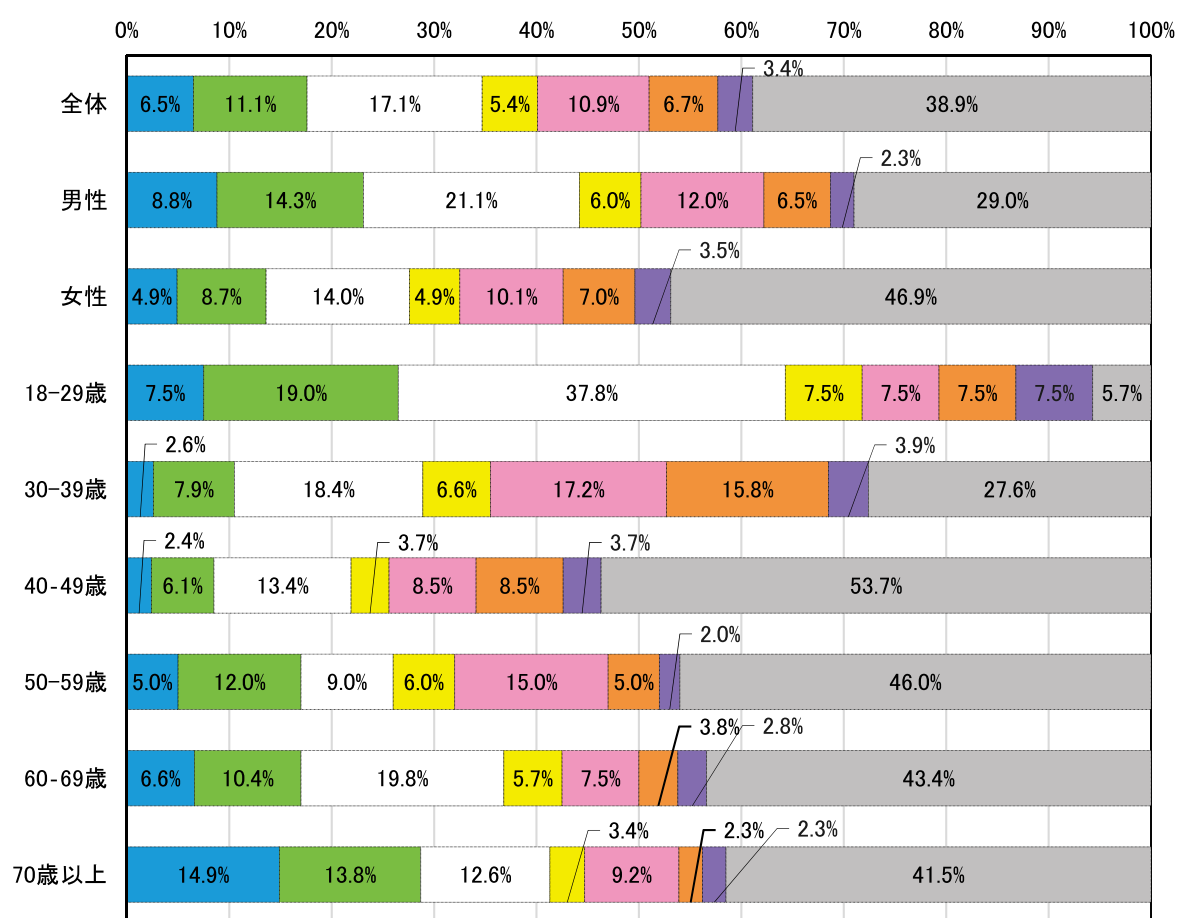
本市スポーツ施設については、合併前の旧町ごとに施設整備されていたことから、市民及び総合型地域スポーツクラブや各スポーツ団体の活動拠点となっています。しかし、老朽化により損傷が著しく、維持管理が難しくなっている施設もあることから利用状況等について調査し、今後の利用整備について検討する必要があります。

2 運動・スポーツの実施状況

(1) この1年間で運動やスポーツ活動をどの程度していますか。

18歳から70歳代を全体とした場合、「ほとんど毎日」6.5%、「週3～5日程度」11.1%、「週1～2日程度」17.1%、と週1回以上運動している人が34.7%で、平成28年度に国で行った調査の42.5%を7.8%下回っています。一方で「していない」と答えた人が38.9%となっており全体的に運動やスポーツをする人の割合が低くなっています。

この1年間でどの程度運動やスポーツをしましたか

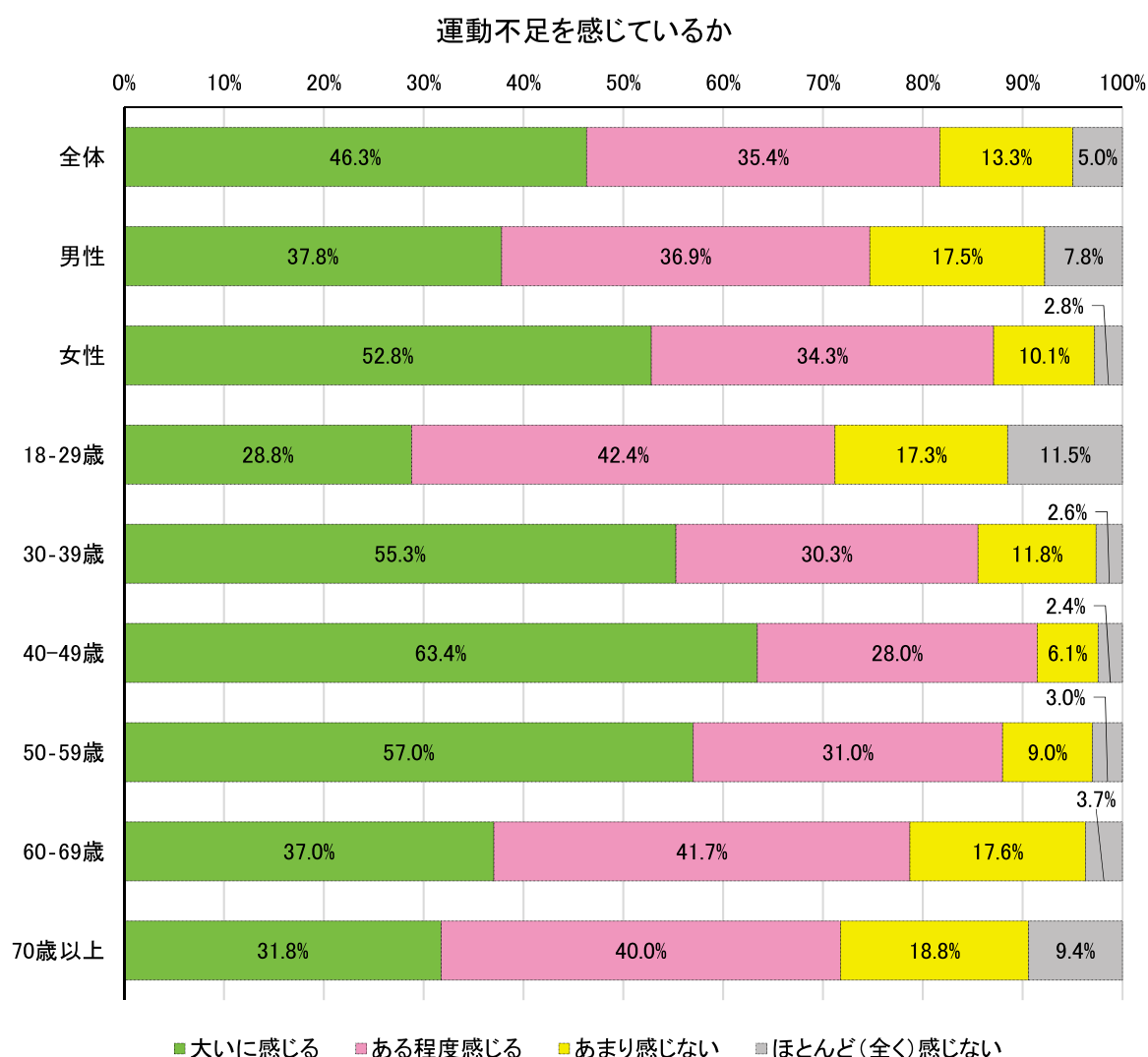


〔性別・年代別傾向〕

性別では、「していない」が女性で46.9%となっており、女性に比べ男性の方が運動やスポーツの実施頻度が高くなっています。20歳代以下の場合、「1週間に1回以上は運動やスポーツをしている」が64.3%であるのに対し、30歳代では28.9%、40歳代では21.9%、50歳代では26.0%、60歳代では36.8%、70歳代では41.3%と年齢を重ねるほど実施率が上がっていますが、「していない」と答えた人が40歳代で53.7%と半数を超えています。

（２）ふだん運動不足を感じているか。

全体で「大いに感じる」46.3%、「ある程度感じる」35.4%と、合わせた『感じる』が81.7%となっています。男性に比べ女性が運動不足を感じている比率が高くなっています。



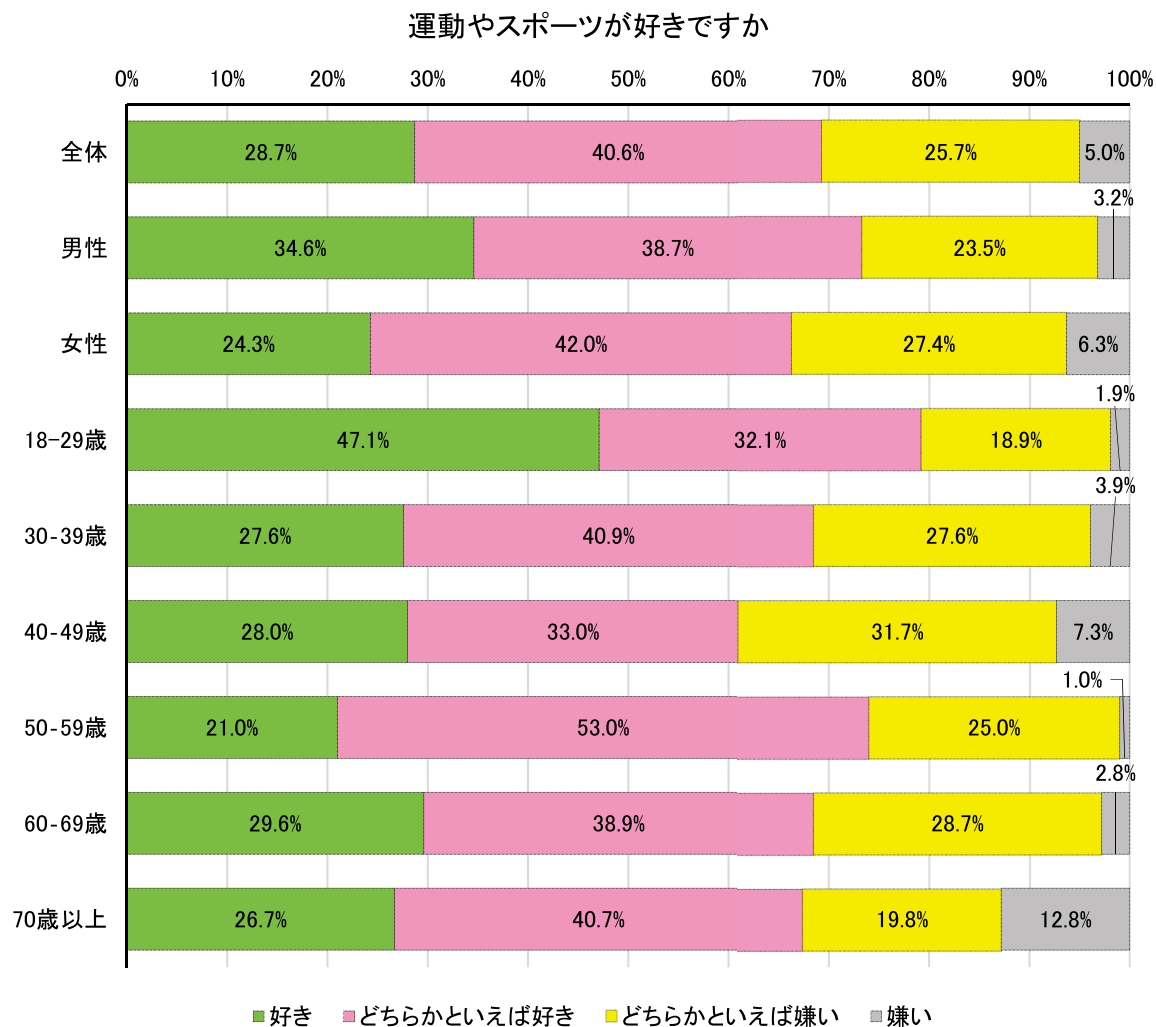
〔性別・年代別傾向〕

性別では、「大いに感じる」「ある程度感じる」と答えた男性が合わせて74.7%、女性が87.1%、「あまり感じない」「ほとんど感じない」と答えた男性が合わせて25.3%、女性が12.9%で男女ともに運動不足を感じている方の比率がかなり高くなっています。

年代別では、全ての年代において運動不足を感じている人が70%を超えていますが、30歳代から50歳代では80%を超える高い比率となっています。

（３）運動やスポーツ活動など体を動かすことが好きですか

全体で「好き」28.7%、「どちらかといえば好き」40.6%を合わせた『好き』が69.3%、「嫌い」5.0%、「どちらかといえば嫌い」25.7%を合わせた『嫌い』が30.3%となっており、体を動かすことが好きな人が69.3%と高い比率となっています。



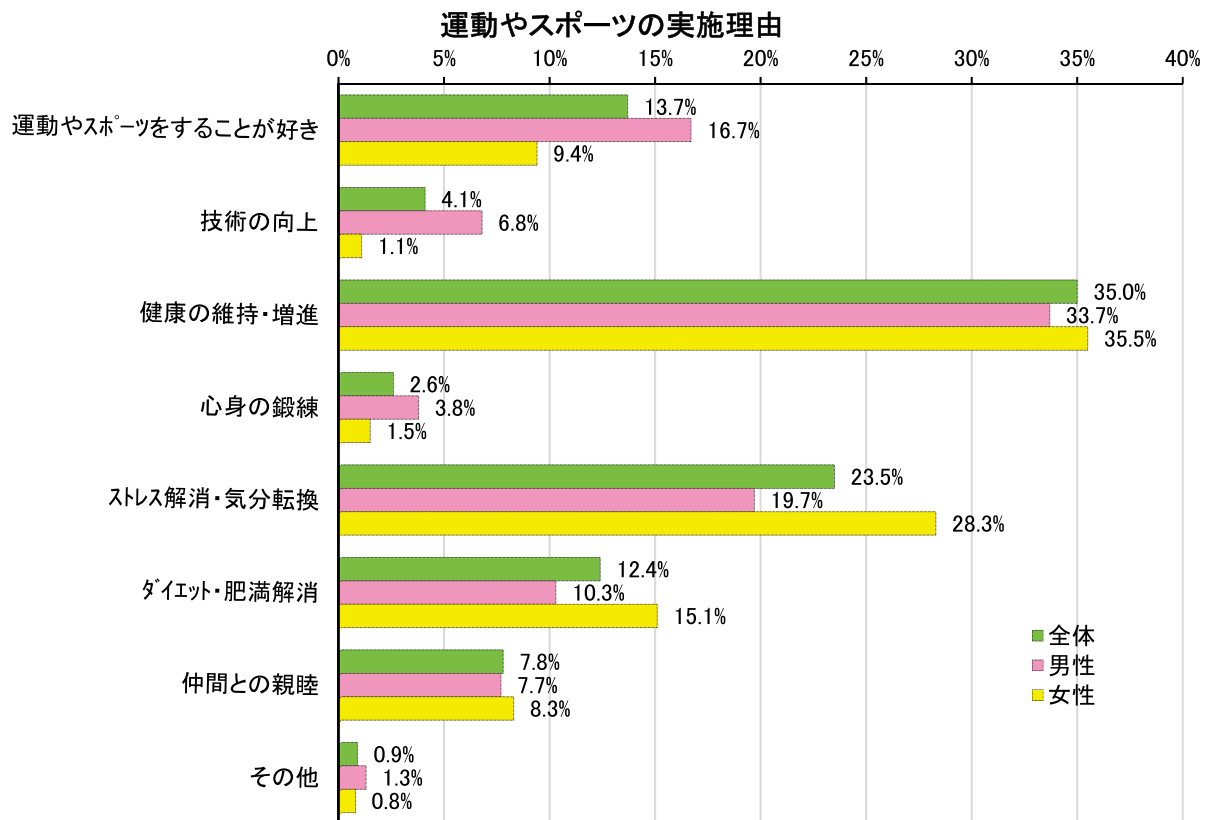
〔性別・年代別傾向〕

性別では、「好き」と「どちらかといえば好き」を合わせた『好き』と答えた男性が73.3%となっており、女性の『好き』66.3%に比べ高い比率となっています。

年代別では18～29歳代が『好き』79.2%と最も高く、30歳代が68.5%、40歳代が61.0%、50歳代が74.0%、60歳代が68.5%、70歳代が67.4%となっており40歳代が最も低い比率となっています。

（４）運動・スポーツをする理由はなんですか。

「健康の維持・増進」35.0%、「ストレス解消・気分転換」23.5%、「運動やスポーツをすることが好き」13.7%、「ダイエット・肥満解消」12.4%、となっております。



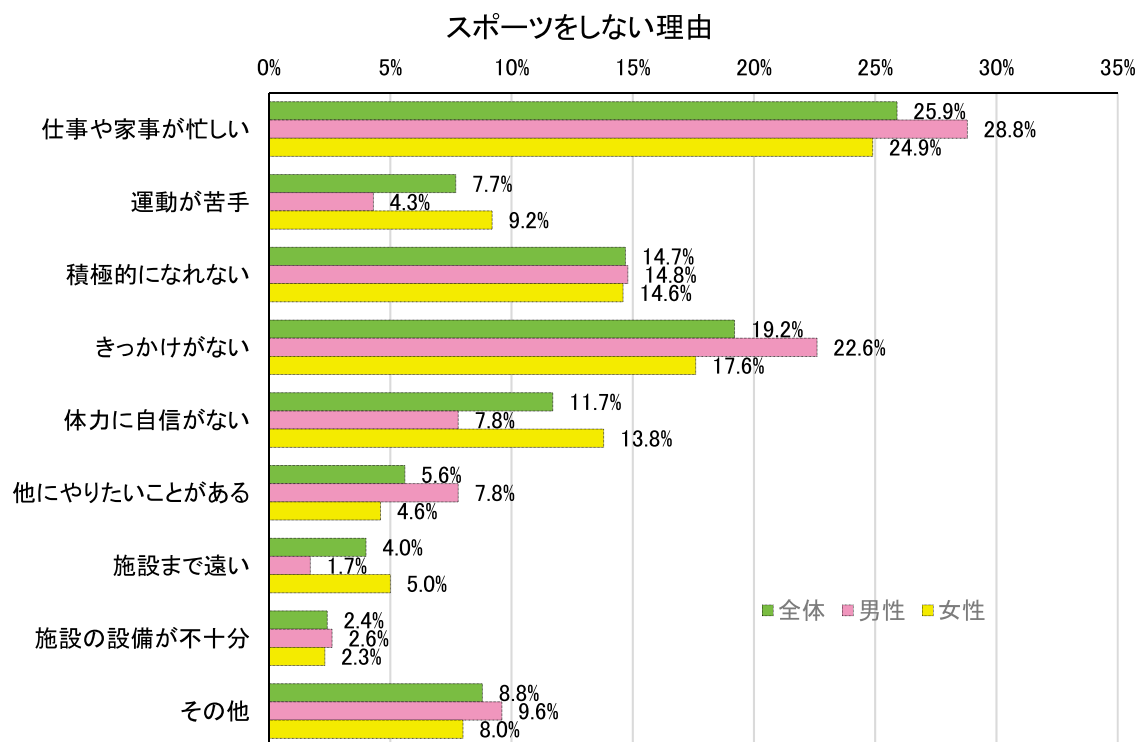
年代別区分	18-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70 歳以上
運動やスポーツをすることが好き	26.1%	11.1%	8.3%	14.7%	14.7%	8.1%
技術の向上	10.8%	5.6%	5.0%	1.3%	2.1%	1.4%
健康の維持・増進	20.0%	23.3%	35.1%	37.3%	40.0%	52.6%
心身の鍛練	3.1%	3.3%	1.7%	1.3%	2.1%	4.1%
ストレス解消・気分転換	24.6%	26.7%	23.3%	26.7%	23.2%	16.2%
ダイエット・肥満解消	9.2%	20.0%	18.3%	12.0%	10.5%	4.1%
仲間との親睦	6.2%	8.9%	5.0%	6.7%	6.3%	13.5%
その他	0.0%	1.1%	3.3%	0.0%	1.1%	0.0%

〔年代別傾向〕

20歳代以下では、「運動やスポーツをすることが好き」26.1%と多いが、30歳代からは「健康の維持・増進」「ストレス解消・気分転換」のため取り組む人が増える傾向にあります。

（５）１年間運動やスポーツしていない理由

全体でみると「仕事や家事が忙しい」と答えた人が25.9%で最も高く、「きっかけがない」が19.2%、「積極的になれない」が14.7%の順となっています。「運動が苦手」「体力に自信がない」と答えた人も合わせて19.4%と約20%の比率となっています。



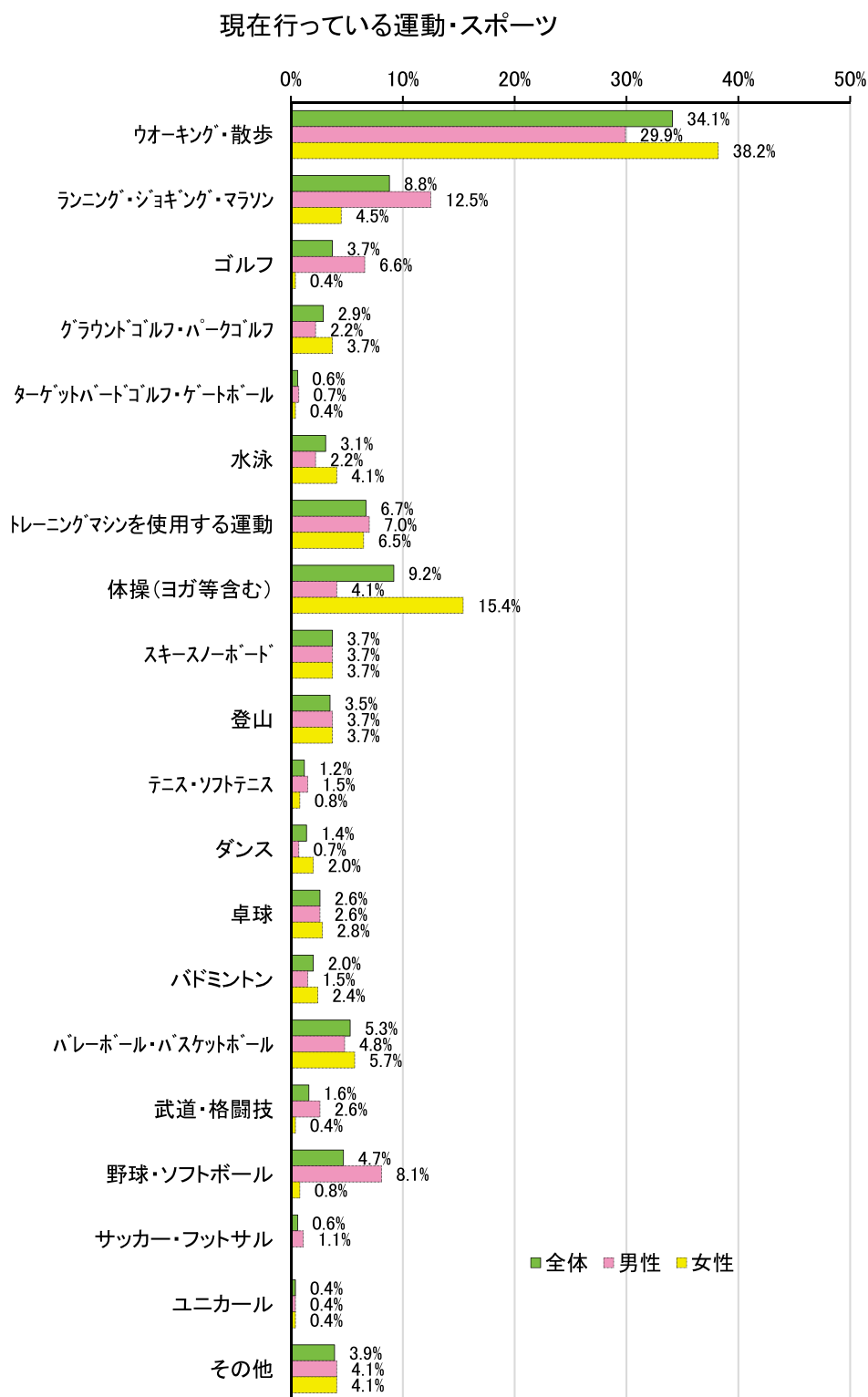
年代別区分	18-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70 歳以上
仕事や家事が忙しい	14.2%	30.0%	30.7%	28.1%	27.1%	11.7%
運動が苦手	28.6%	10.0%	9.9%	5.2%	6.2%	6.7%
積極的になれない	14.3%	17.5%	14.3%	13.5%	14.8%	14.9%
きっかけがない	28.6%	20.0%	19.8%	24.0%	21.0%	6.7%
体力に自信がない	14.3%	2.5%	9.9%	11.5%	8.6%	25.0%
他にやりたいことがある	0.0%	5.0%	5.5%	2.1%	11.1%	5.0%
施設まで遠い	0.0%	10.0%	4.4%	2.1%	2.5%	5.0%
施設の設備が不十分	0.0%	2.5%	3.3%	3.1%	2.5%	0.0%
その他	0.0%	2.5%	2.2%	10.4%	6.2%	25.0%

〔年代別傾向〕

30歳代から60歳代まで、「仕事や家事が忙しい」と答えた比率が最も高くなっています。また、70歳代を除く各年代ともに「きっかけがない」と答えた人も多くいます。

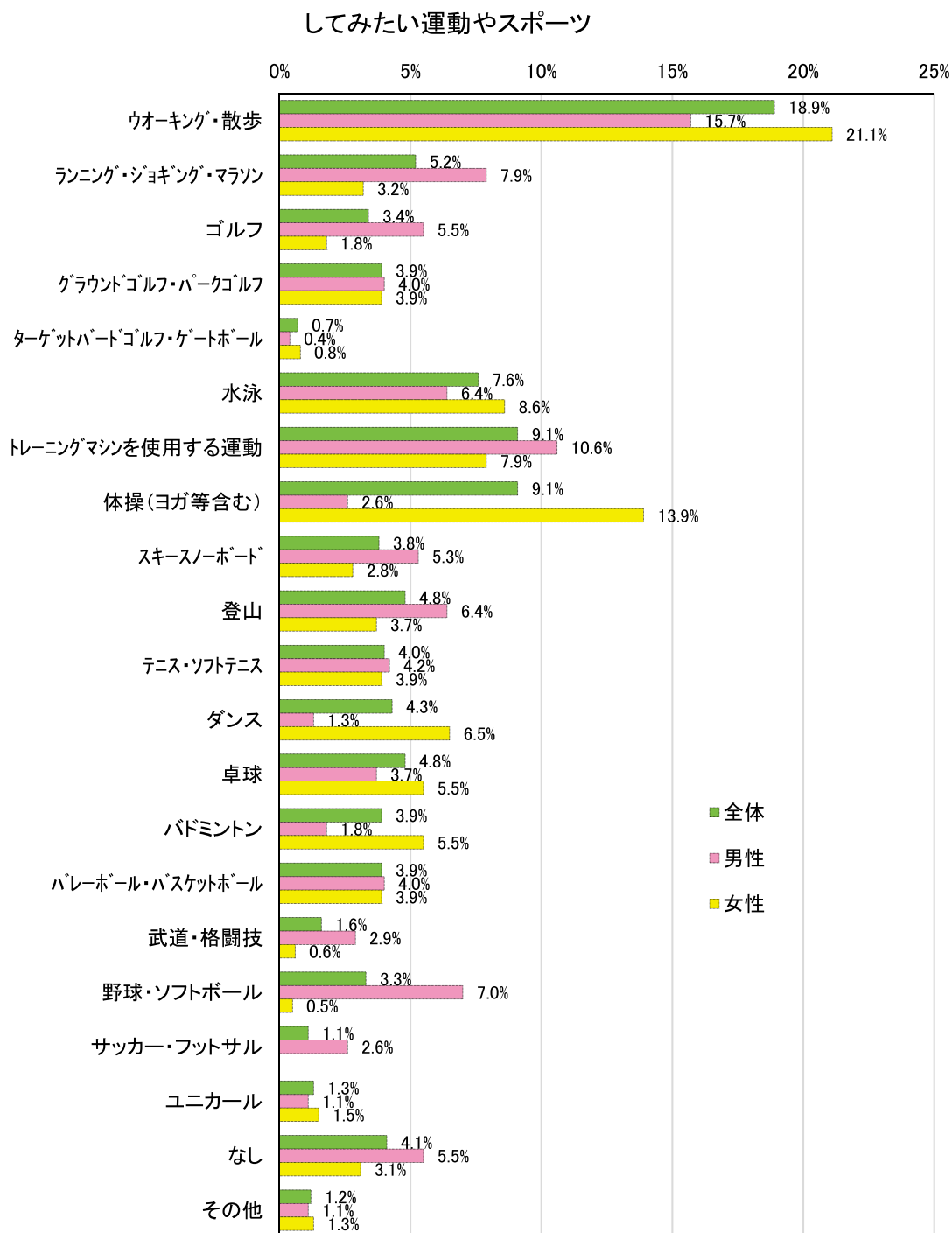
(6) どのような運動・スポーツ活動をしていますか。

男女ともに「ウォーキング・散歩」を行っている人が最も多く合わせて34.1%となっています。
次いで男性は「ランニング・ジョギング」12.5%となっており、女性は「体操（ヨガ含む）」が15.4%と2番目に高い比率となっています。



（７）どのような運動・スポーツをしたいですか

「現在行っている運動・スポーツ」と同じく「ウォーキング・散歩」が男性 15.7%、女性 21.1% 合わせて 18.9%と最も多くなっています。女性は「体操（ヨガ含む）」、「水泳」の順に高い比率になっており、男性は「ランニング等」と「トレーニングマシンを使用する運動」の順番が逆転しているものの上位には同じ運動やスポーツがあげられています。



３ 体育施設の状況

（１）市体育施設の概要

施設名	所在地	概要
鷹巣体育館	鷹巣字東中岱 11 番地	本館体育室：1,170 m ² バスケットコート 2 面 サブ体育室：505 m ² バスケットコート 1 面
合川体育館	李岱字下豊田 25 番地	体育室：1,230 m ² バスケットコート 2 面 2 階オープンスペース 234 m ²
森吉総合スポーツセンター	米内沢字七曲 172 番地	体育室：1,800 m ² バスケットコート 2 面 トレーニングルーム 60 m ²
阿仁体育館	阿仁水無字畑町東裏 130 番地	体育室：768 m ² バスケットコート 1 面
北健康増進センター	綴子字糠沢上谷地 301 番地 1	体育室：560 m ² バスケットコート 1 面
中央公園野球場	脇神字米ノ岱 27 番地 90	両翼 90m 中堅 120m
合川野球場	下杉字中嶋 70 番地 2	両翼 97.5m 中堅 122m
森吉野球場	米内沢字七曲 93 番地	両翼 92m 中堅 120m
米代河川緑地広場	鷹巣字南三ツ谷岱地内	野球場 1 面、ソフトボール場 1 面
鷹巣陸上競技場	坊沢字上野 2 番地	3 種公認（全天候）
中央公園テニスコート	脇神字米ノ岱 27 番地 90	クレーコート 6 面
森吉農村広場テニスコート	米内沢字ヲツコ沢地内	クレーコート 2 面
合川ゲートボール場	上杉字金沢 162 番地 1	屋外 4 面 屋内 1 面
市民プール	鷹巣字東中岱 21 番地 1	競泳：25m×13m（6 コース） 歩行：17m×2.5m（1 コース） 潜水：直径 4M 水深 4m 幼児：11m×3.5m トレーニングルーム 190.96 m ²
合川プール	李岱字下豊田 5 番地	一般用：25m×13m（6 コース） 低学年：10m×5m
薬師山スキー場	今泉字鳥越 13 番地 1 から 4	T バーリフト 2 基、照明
湯口内スキー場	阿仁水無字湯口内 298 番地 2 外	T バーリフト 2 基、照明
松森スキー場	阿仁幸屋渡字山根 46 番地 7 外	T バーリフト 1 基、照明
高津森クロスカントリーコース	阿仁鍵ノ滝字鍵ノ滝 79 番地 18 外	全日本スキー連盟公認コース
森吉山阿仁スキー場	阿仁鍵ノ滝字鍵ノ滝 79 番地 2 外	ゴンドラ（6 人乗り）1 基 リフト（2 人乗り）2 基 最長コース：2,800m

(2) 体育施設等の利用状況

体育施設の利用状況を過去5年間で比較してみると、施設によって増減傾向が見られます。市民プールの利用者数は年々増加傾向にありますが、スキー場の利用者数は、雪不足に伴う開場日数の減少によるものであります。全体的に見た場合、施設や年度により、利用者数にばらつきがあるものの多くの市民の方々に利用されています。

体育施設の利用状況

単位：人

施設名	平成 24 年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度
鷹巣体育館	45,041	53,968	59,225	55,509	53,871
合川体育館	26,699	33,826	28,186	29,540	29,160
森吉総合スポーツセンター	17,515	15,887	15,143	16,207	18,510
阿仁体育館	2,169	2,718	2,596	2,842	2,756
北健康増進センター	6,589	8,865	9,658	9,808	8,515
中央公園野球場	23,747	24,735	26,998	23,265	23,632
合川野球場	1,585	2,475	4,940	3,410	4,056
森吉野球場	2,642	2,774	2,268	1,800	1,686
米代河川緑地広場（野球場）	1,945	1,006	470	1,042	933
米代河川緑地広場（ソフトボール場）	1,077	438	617	1,067	978
鷹巣陸上競技場	19,696	19,560	※1 7,618	17,133	13,339
中央公園テニスコート ※2	7,815	7,894	8,107	3,538	3,715
森吉農村広場テニスコート	625	2,532	1,950	1,850	1,140
合川ゲートボール場 ※3	3,276	3,214	2,001	1,363	1,985
市民プール	45,266	48,309	45,704	52,205	54,215
合川プール	2,326	1,893	1,480	6,018	4,678
薬師山スキー場	9,112	7,711	14,526	5,903	4,899
湯口内スキー場	972	846	877	694	638
松森スキー場	464	496	480	608	389
高津森クロスカントリーコース	1,673	1,179	391	869	1,938
森吉山阿仁スキー場	50,931	44,789	47,748	52,350	52,856
合 計	271,165	285,115	280,983	287,021	283,889

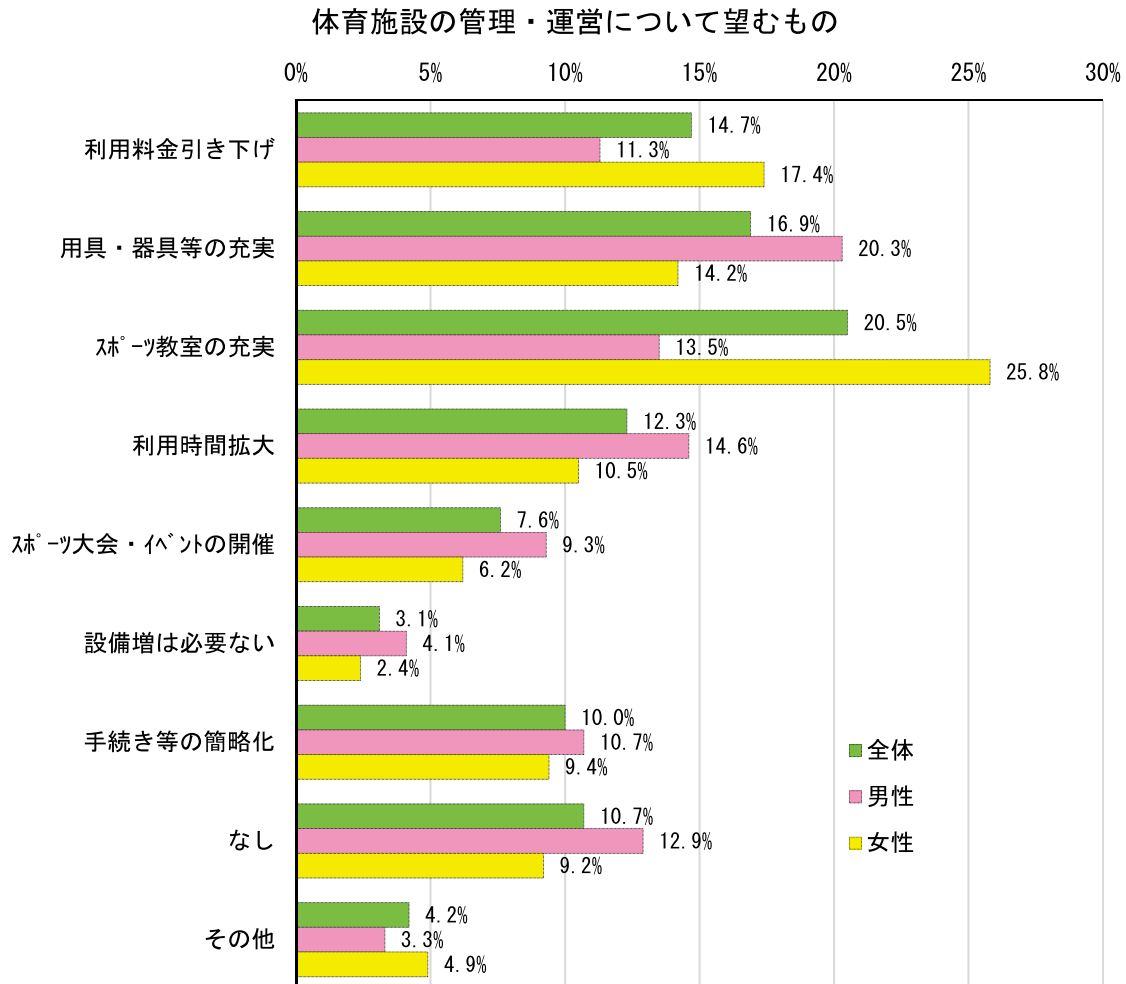
※1 平成 26 年度の鷹巣陸上競技場の利用者数減については、トラック改修工事を行ったことによります。

※2 中央公園テニスコートの利用者数の減は、秋田北鷹高校のテニス場が完成したことによるものです。

※3 屋内コートのみ利用人数の計上となっています。

（３）市の体育施設について何を望みますか

全体では、「スポーツ教室の充実」、「用具・器具等の充実」、「利用料金引き下げ」を挙げた人が多くなっています。特に女性で「スポーツ教室の充実」を望んでいる人が多く、男性では「用具・器具等の充実」を望んでいる人が多くなっています。



年代別区分	18-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70 歳以上
利用料金引き下げ	15.2%	14.4%	17.8%	12.7%	16.1%	12.1%
用具・器具等の充実	24.3%	24.0%	15.6%	14.6%	13.1%	12.1%
スポーツ教室の充実	11.1%	15.1%	17.8%	23.1%	27.4%	24.1%
利用時間拡大	14.1%	17.8%	11.1%	12.7%	11.3%	6.0%
スポーツ大会・イベントの開催	14.1%	6.2%	6.7%	4.8%	6.5%	10.3%
設備増は必要ない	3.0%	2.6%	4.4%	2.4%	3.6%	2.6%
手続き等の簡略化	9.1%	10.3%	8.9%	11.5%	10.7%	8.6%
なし	5.1%	6.2%	14.1%	9.1%	9.5%	21.6%
その他	4.0%	3.4%	3.6%	9.1%	1.8%	2.6%

4 スポーツ推進委員の役割と現状

スポーツ推進委員とは、スポーツ基本法第32条に定められた、スポーツ推進のための事業実施に係る連絡調整並びに住民に対するスポーツの実技指導、その他スポーツに関する指導及び助言を行う委員であり、北秋田市では平成29年4月1日現在で35名の方に委嘱を行い、北秋田市の運動・スポーツの推進に携わっていただいております。また、スポーツ推進委員主催や市主催の各種イベント事業等の開催運営の実施や運動・スポーツの資質向上を図る目的で、多くの研修会に参加しています。

スポーツ推進委員が参加する研修等（平成29年度実績）

No.	研修会・講習会等名称
1	全国スポーツ推進委員研究協議会
2	東北地区スポーツ推進委員研修会
3	秋田県スポーツ推進委員研究大会
4	秋田県女性スポーツ推進委員交流のつどい
5	秋田県スポーツ推進委員初任者研修会
6	元気アップ運動機会拡充事業研修会（県スポーツ科学センター主催）
7	大館北秋田スポーツ推進委員協議会研修会

スポーツ推進委員が主管、協力している事業（平成29年度実績）

No.	事業名	役割・活動
1	河田杯マラソン	競技委員として運営に携わる。
2	なわとび大会	主催事業として企画運営を行う。
3	体力テスト（年4回実施）	秋田県からの委託を受け測定記録を行う。
4	バランスボール（年7回）	主催事業として開催、運営指導を行う。
5	ながなわとび大会	主催事業として企画運営を行う。
6	市民スキー大会	競技委員として運営に携わる。
7	北秋田学童スキー大会	競技委員として運営に携わる。
8	大館北秋田スキー米内沢大会	（中止）
9	県民歩くスキー	競技委員として運営に携わる。

第3章 目指す姿と基本目標

1 目指す姿

「スポーツを通じて市民が健康で活力のある元気な北秋田」

スポーツは、体を動かすという人間の本源的な欲求に応え、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心等の精神の涵養等の身体活動と捉えられており、スポーツを通じて幸福で豊かな生活を営むことは全ての人々の権利とされております。

スポーツを「する」ことで「楽しさ」「喜び」を得られ、心身の健康増進や生きがいに満ちた生き方を実現していくことができます。

スポーツを「みる」ことで「感動」し「活力」が得られ、応援することにより「する」人の力になることができます。

スポーツを「ささえる」ことで、多くの人が交わり「共感」し合うことにより社会の絆が強くなっていきます。

スポーツを「する」「みる」「ささえる」ことによる、「健康で活力ある長寿社会の実現」、「子ども、高齢者、障害者、女性、外国人などを含め全ての人々が分け隔てのない共生社会の実現」、「人口減少や高齢化が進む中での地域経済の活性化」を推進し、『スポーツを通じて市民が健康で活力のある元気な北秋田』を目指します。



2 基本目標

(1) スポーツ環境の充実

市民が誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツを楽しむことのできるよう、施設の整備計画の策定や各種関係団体と連携・協働により市民の多様なニーズへの対応し、安全・安心で有効的にスポーツができる環境づくりに取り組みます。

【数値指標】

スポーツ施設年間利用者数（実績年度）

平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 32 年度
280,983 人	287,021 人	283,889 人	290,000 人

※合川ゲートボール場、高津森クロカンコース、森吉山阿仁スキー場を含む

(2) 生涯スポーツの推進

市民の誰もが、生涯にわたり心身ともに健康で活気と豊かさに満ちた生活ができるよう、それぞれの年代や関心、適正に応じて日常的にスポーツに親しむ機会の充実を図ります。

【数値指標】

運動・スポーツを月に数回以上する市民の割合（調査年度）

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 32 年度
31.0%	38.3%	40.1%	50.0%

(3) スポーツを通じた地域活性化

100キロチャレンジマラソンやスポーツ・文化等合宿誘致事業により、交流人口の拡大を図り賑わい創造し、また、「チャレンジデー」に参加することで地域の絆を育み、「チャレンジデー」をきっかけとした運動・スポーツの日常化により元気と活力を育み地域の活性化を図ります。

【数値指標】

チャレンジデー参加率（実績年度）

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 32 年度
58.7%	55.6%	60.0%	60.0% 以上 継続

(4) 競技スポーツ（競技力）の向上

多様化するスポーツ活動を取り巻く環境において、子どもが積極的に運動・スポーツに親しむ機会を充実するため、北秋田市体育協会所属競技団体等と連携し、指導者、審判員等の確保・育成を推進し、指導体制の構築と環境整備を図ります。

【数値指標】

体育協会所属団体・人数

平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 32 年度
23 団体 2,009 人	23 団体 2,000 人	23 団体 1,844 人	23 団体 1,800 人

第4章 施策の展開

1 スポーツ環境の充実

(1) スポーツ施設の整備・充実

事業	概要
老朽化施設の整備計画の策定	施設の長寿命化計画、または長期修繕計画の策定について、計画的、効率的な修繕及び改修を検討し、あらゆる運動・スポーツ活動の拠点となるスポーツ施設を安全・安心に利用できるよう取り組みます。
多様なニーズに応じた施設環境の整備	子ども、成人、高齢者と年代・世代によって異なる多様なニーズにあったスポーツ用具の整備や、利用時間帯について弾力的な運用を図るなど利用環境を整備します。また、パークゴルフ場などのスポーツ施設を併せ持つ、北欧の杜公園や大館能代空港周辺ふれあい緑地など県有施設の利用について関係団体等と協議体制の構築を図ります。

(2) 適正管理と有効活用

事業	概要
施設の管理運営と有効活用の推進	利用者の利便性を向上させるため、通信端末等からの施設予約システムの導入について検討します。

(3) スポーツ関連の情報提供

事業	概要
スポーツに関する各種情報の提供	市ホームページの更新や多様化する情報媒体を活用し、スポーツ施設の利用状況やイベント開催情報、市出身選手の活躍等、多様な情報の発信について検討します。

2 生涯スポーツの推進

(1) 市民のスポーツ機会の充実

事業	概要
運動・スポーツ教室の開催	日ごろスポーツや健康増進に取り組むことができない成人（育児・就業）世代が、身近で気軽にスポーツ等に親しむことや習慣化することができるよう、志向や時間帯に応じた各種教室等を開催するなど機会の充実を図ります。
ニュースポーツの普及	市スポーツ推進委員による体験イベント等を開催し交流の場を提供することで、ニュースポーツの普及活動に取り組みます。
高齢者のスポーツ参加推進	医療健康課や高齢福祉課と連携し、各種スポーツ教室や健康寿命の延伸や介護予防に繋がる健康教室の開催を図ります。
障害者スポーツの支援	関係部署と連携し、障害のある方々のスポーツの「する」「みる」に対する環境の充実と障害者スポーツの周知について検討します。

(2) 運動・スポーツ指導者の養成

事業	概要
スポーツ推進委員活動の充実	スポーツ推進委員の資質向上のため積極的な研修会等への参加支援や体力テスト・スポーツ実態調査を行い、その結果を共有しながら市民のニーズに合わせたスポーツ実施率向上のための取り組みを推進します。

(3) スポーツ関係団体の養成・育成

事業	概要
体育協会の活動支援	競技スポーツ大会やスポーツ・レクリエーション大会、スポーツ教室の開催やスポーツに関する専門知識、指導力のある事業を展開することにおいて、体育協会等と連携するとともに支援を継続し団体の育成を目指します。
総合型地域スポーツクラブの支援	生涯スポーツ社会の実現に向け、誰もが、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツができる存在として、住民への参加促進と総合型地域スポーツクラブの自主的な運営を促進する環境整備についての支援に取り組みます。

3 スポーツを通じた地域活性化

(1) スポーツを活用した地域づくりの推進

事業	概要
チャレンジデーへの参加	毎年5月最終水曜日に開催される、住民参加型スポーツイベント「チャレンジデー」への参加を継続し、地域の絆、職場や学校の連帯感の醸成や運動習慣の浸透を図ります。
スポーツ・レクリエーション大会等の開催	毎年開催されているスポーツ・レクリエーション大会について、体育協会や協会加盟競技団体と連携しながら継続してまいります。
2020 東京オリンピック・パラリンピックやスポーツイベントの活用	2020 東京オリンピック・パラリンピックを始めとするイベント等の開催に伴う地域活性化を目指します。

(2) スポーツによる交流人口の拡大

事業	概要
スポーツ・文化合宿の誘致	市外スポーツ団体や文化活動団体等の合宿誘致を行い、市内での合宿に対し支援を行うなど、市外からの合宿・キャンプ等の誘致推進を図ります。
100キロチャレンジマラソンへの支援	北秋田市最大の集客力を誇るイベントとして定着した100キロチャレンジマラソンは、市内外から参加する選手と応援・ボランティアで大会に参加する住民との交流により地域に「賑わい」を創出しています。今後も引き続き実行委員会への支援を行います。



4 競技スポーツ（競技力）の向上

（１）競技力向上のための取り組み

事業	概要
高校生以下アスリート等の発掘・育成・支援事業の展開	秋田県で取り組む「タレント発掘事業」によるジュニアアスリート、中学生及び高校生の強化選手に対する支援体制について検討します。

（２）スポーツ指導者の育成

事業	概要
スポーツ指導者の育成とトップアスリートの活用推進	本市出身選手等が現役を退いた後、指導者として活躍できるよう秋田県や他団体と連携しシステムの構築を目指します。

（３）スポーツ少年団等の支援

事業	概要
スポーツ少年団の養成・育成	子どもの健全育成の観点から、子どものスポーツ参加機会拡充のための方策やスポーツとの多様な関わり方ができる場の提供などスポーツへの参加促進に関する取り組みについて検討します。
全国大会等のスポーツ大会への出場支援	全国大会等のスポーツ大会へ出場するスポーツ少年団や、その他児童生徒に対し出場に関する支援を行います。



資料

資 料

1 各委員名簿

スポーツ推進審議会委員（平成 29 年度～30 年度）

役 職	氏 名	役 職	氏 名
会 長	藤 嶋 健 一	委 員	岩 谷 忠 男
副 会 長	成 田 昭 夫	〃	戸 島 昭 彦
委 員	安 部 公 作	〃	伊 東 健 一
〃	松 橋 厚 生	〃	佐 藤 郁 子
〃	奥 田 稔	〃	山 本 英 幸

スポーツ推進委員（平成 29 年度～30 年度）

役 職	氏 名	出身地区	役 職	氏 名	出身地区
委員長	工 藤 清 一	合 川	委員	三 浦 昌 幸	合 川
副委員長	成 田 肇	鷹 巣	〃	吉 田 幸 子	合 川
〃	鈴 木 静 子	森 吉	〃	石 川 千 恵 子	森 吉
〃	伊 藤 範 行	阿 仁	〃	金 井 信 太 郎	森 吉
委員	齊 藤 富 美 雄	鷹 巣	〃	工 藤 新 一 郎	森 吉
〃	佐 藤 郁 子	鷹 巣	〃	金 ゆ か り	森 吉
〃	佐 藤 栄 子	鷹 巣	〃	佐 々 木 禎 尚	森 吉
〃	佐 藤 美 妃 子	鷹 巣	〃	柴 田 甚 一 郎	森 吉
〃	長 岐 賢 一	鷹 巣	〃	菅 原 徹	森 吉
〃	長 田 義 信	鷹 巣	〃	戸 島 昭 彦	森 吉
〃	畠 山 秀 光	鷹 巣	〃	松 橋 清 浩	森 吉
〃	伊 藤 祥	合 川	〃	松 橋 秀 規	森 吉
〃	木 村 浩 悦	合 川	〃	大 高 清 子	阿 仁
〃	佐 藤 隆 男	合 川	〃	木 村 謙 一	阿 仁
〃	佐 藤 俊 光	合 川	〃	佐 々 木 宗 純	阿 仁
〃	佐 藤 博 明	合 川	〃	志 渡 正 敏	阿 仁
〃	藤 嶋 浩 子	合 川	〃	松 橋 悦 子	阿 仁
〃	松 橋 厚 生	合 川			

2 アンケート結果

スポーツ推進に関する市民意識調査結果

1. 調査の目的

北秋田市スポーツ推進計画策定にあたり、市民のスポーツに関する考え及び実態を把握することを目的とする。

2. 調査設計

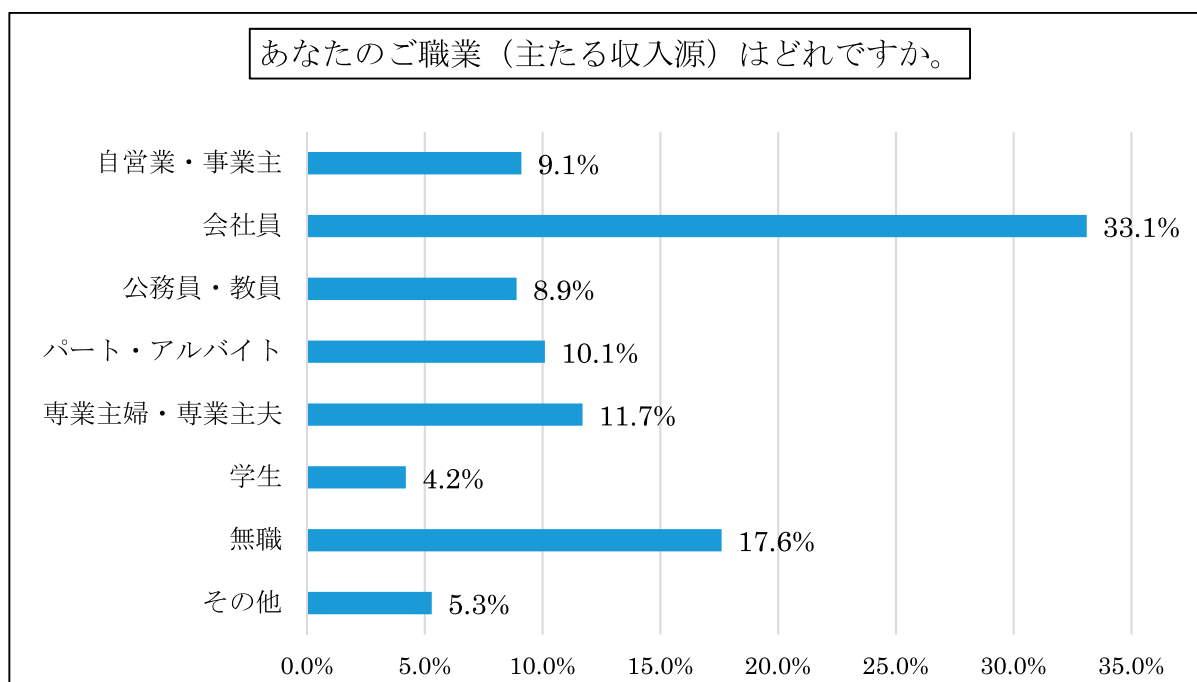
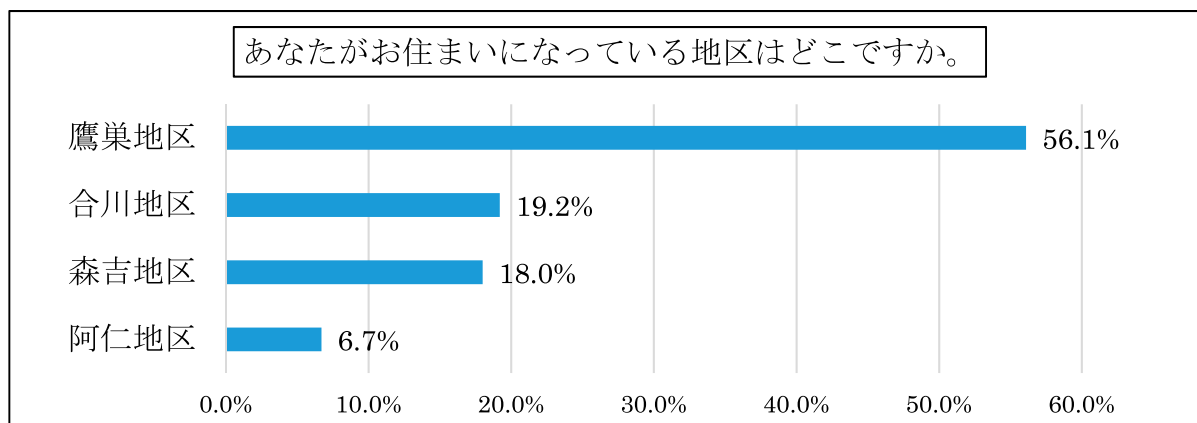
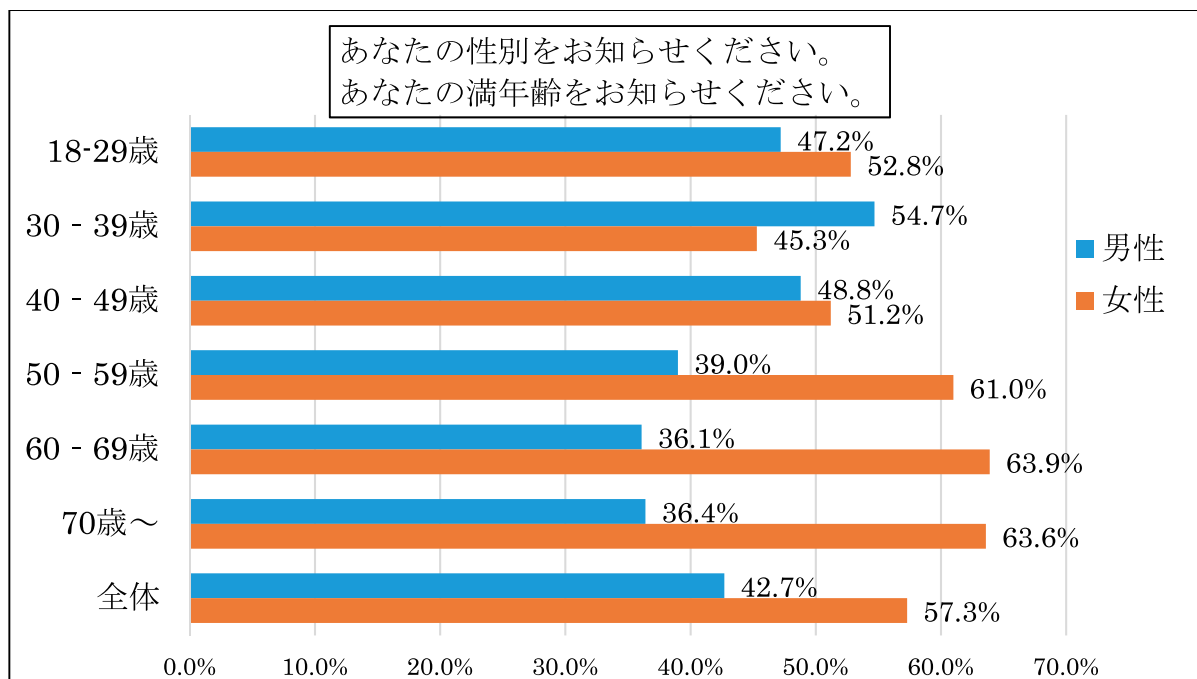
- (1) 調査地域 北秋田市全域
- (2) 調査対象 北秋田市内に住所を有する満 18 歳以上の男女
- (3) 対象者数 1,200 人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳からの無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送による調査票配布および回答用紙回収
- (6) 調査期間 平成 29 年 9 月 1 日から平成 29 年 10 月 30 日

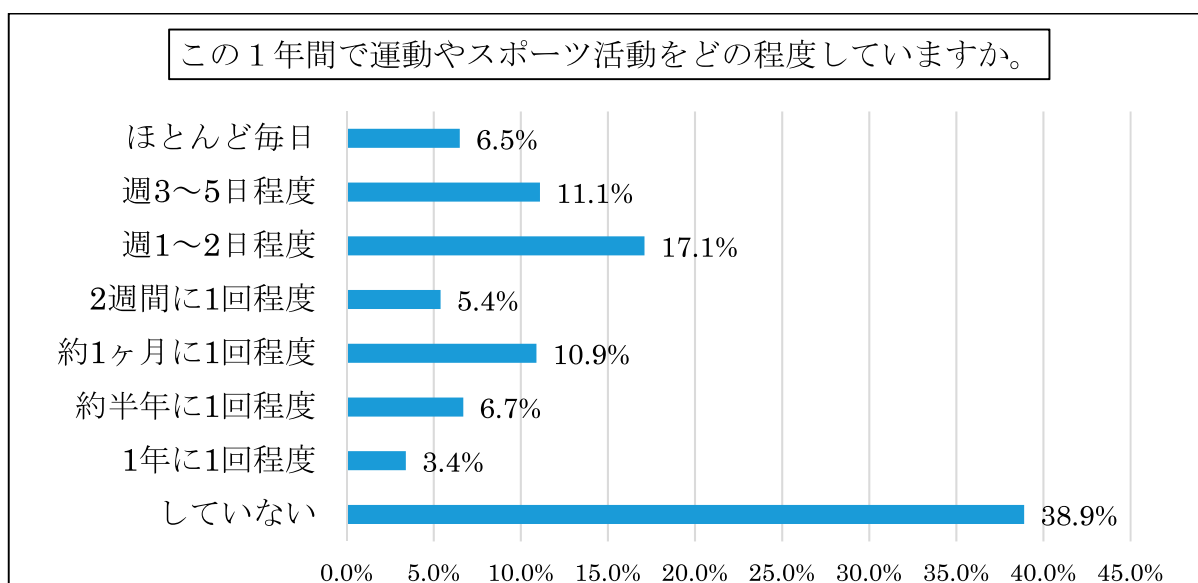
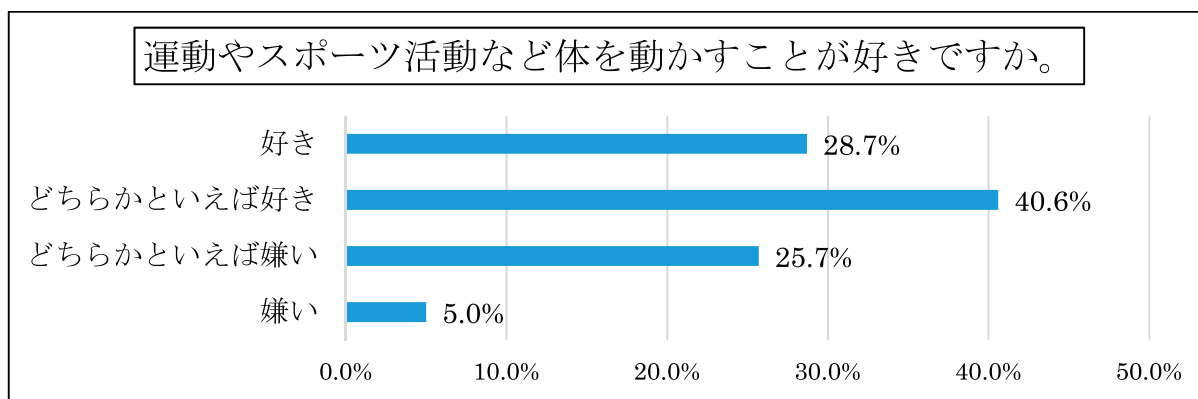
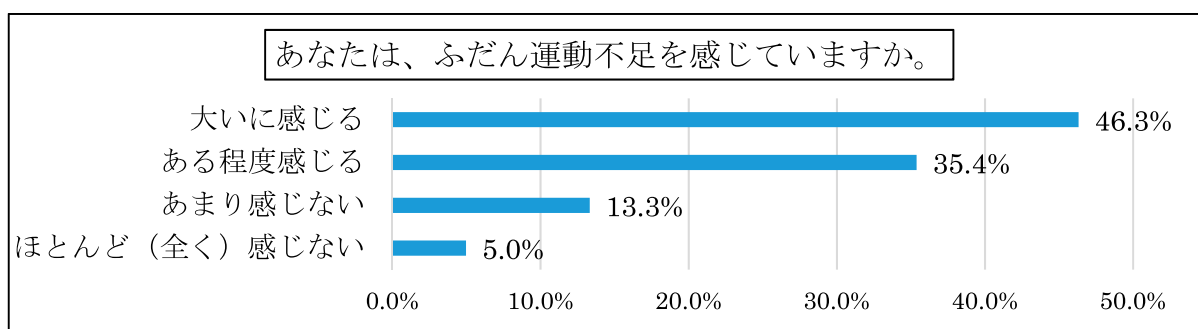
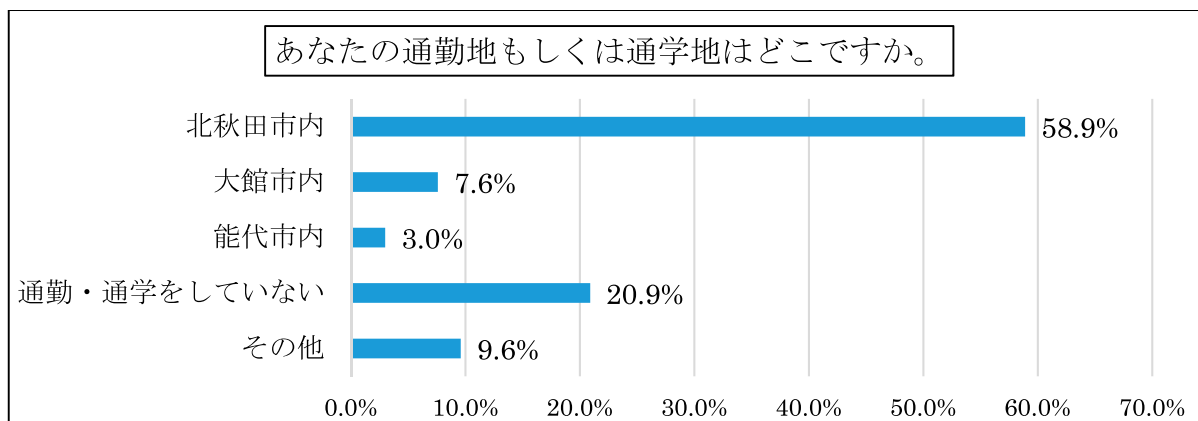
3. 回収結果

- (1) 回収数 509 人
- (2) 回収率 42.4%

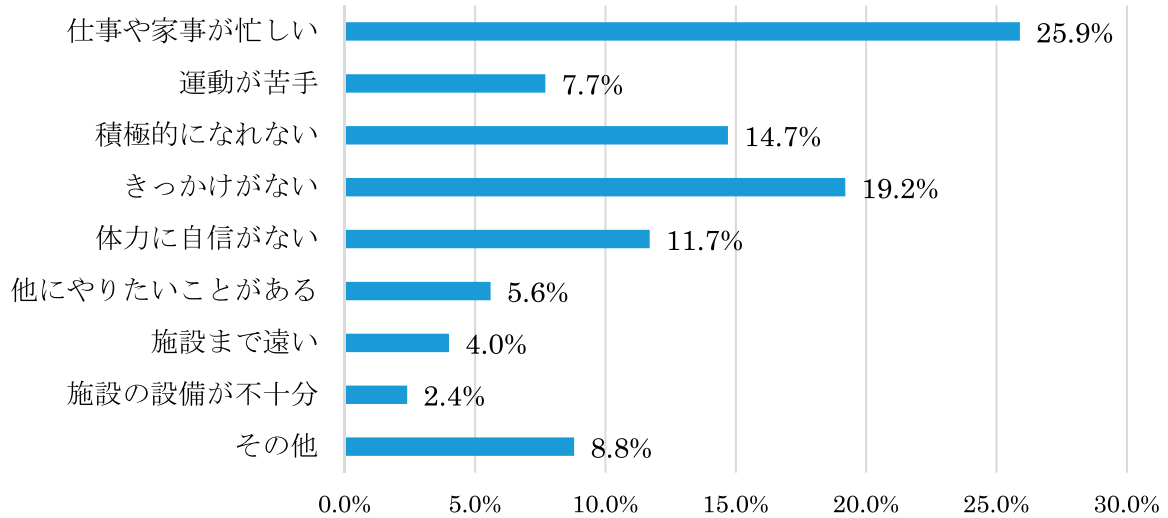
4. 集計方法

- (1) 集計にあたっては、小数第 2 位を四捨五入した。
- (2) 各設問の選択項目において、無回答については数値に含めず比率を算出した。
- (3) 回答の百分比(%)は、「回答数」を基数として算出した。複数回答を認める設問においては「回答者数」と「回答数」は必ずしも一致しない。

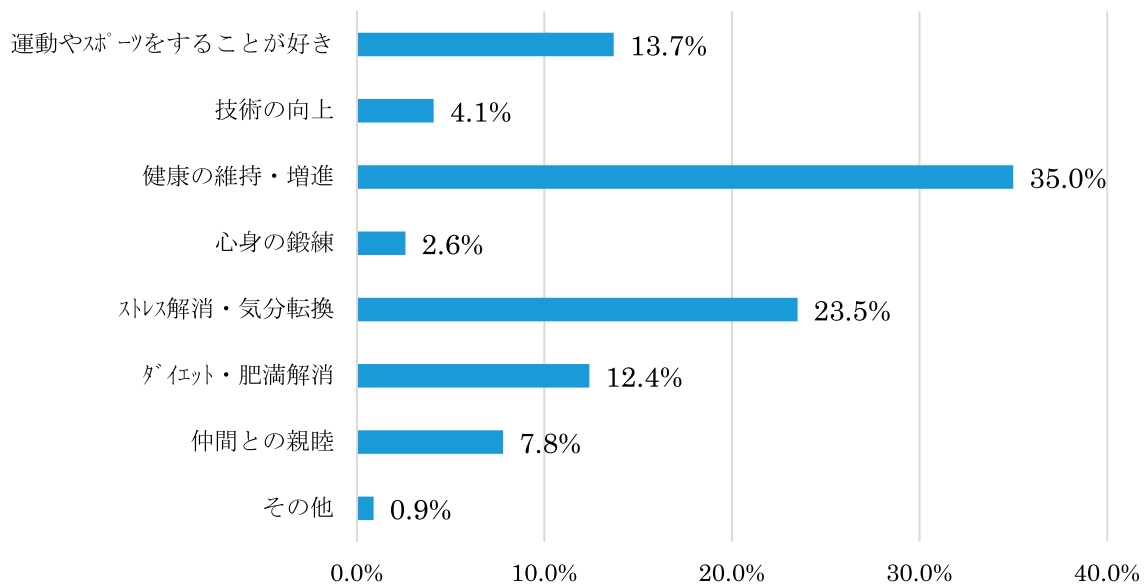




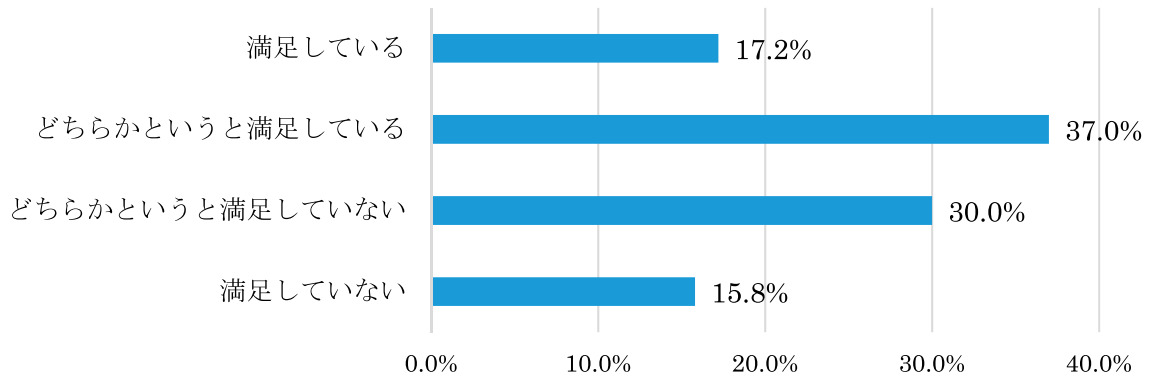
あなたが運動やスポーツ活動をしていない理由はなんですか



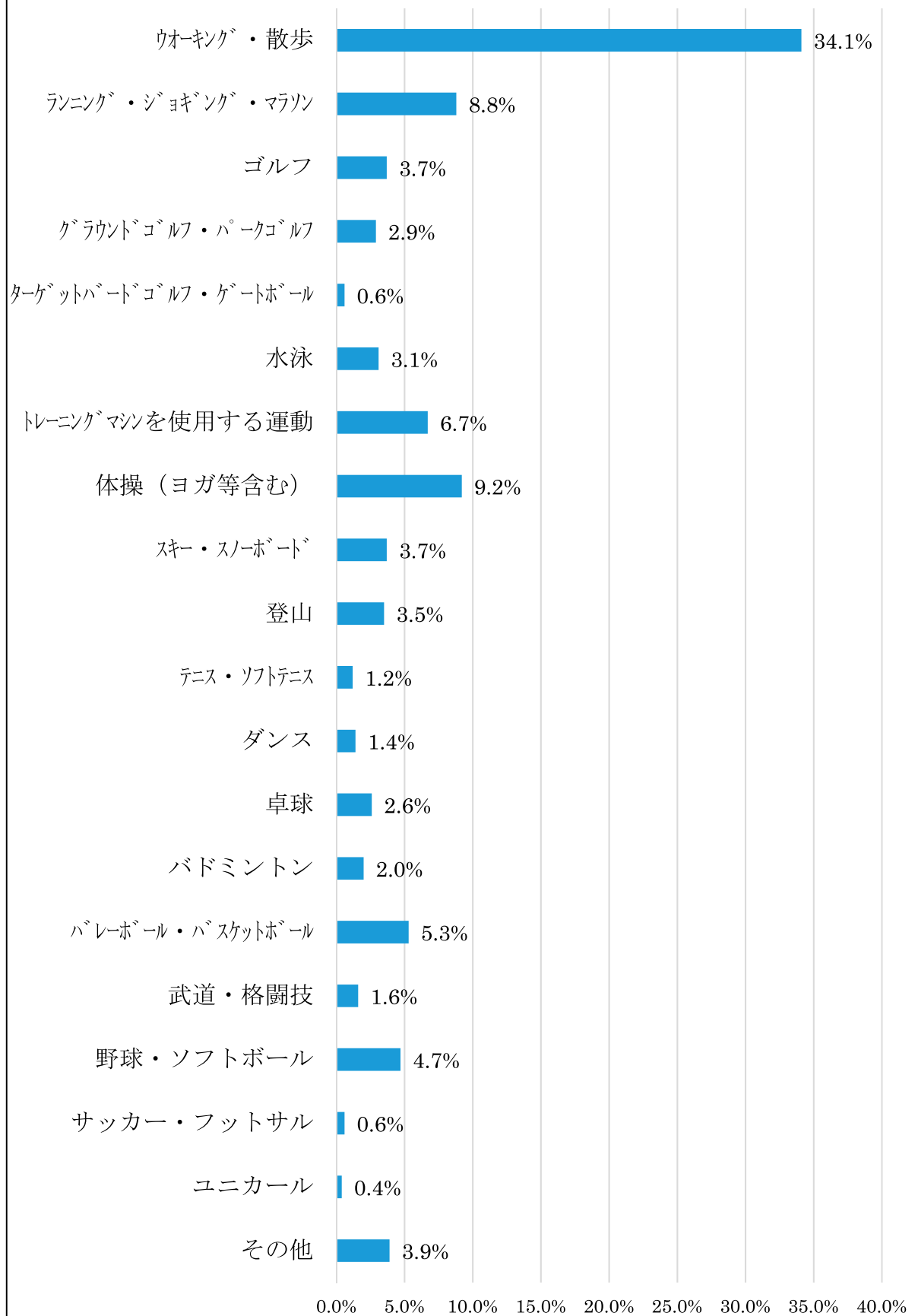
あなたが運動やスポーツをする理由は何ですか。



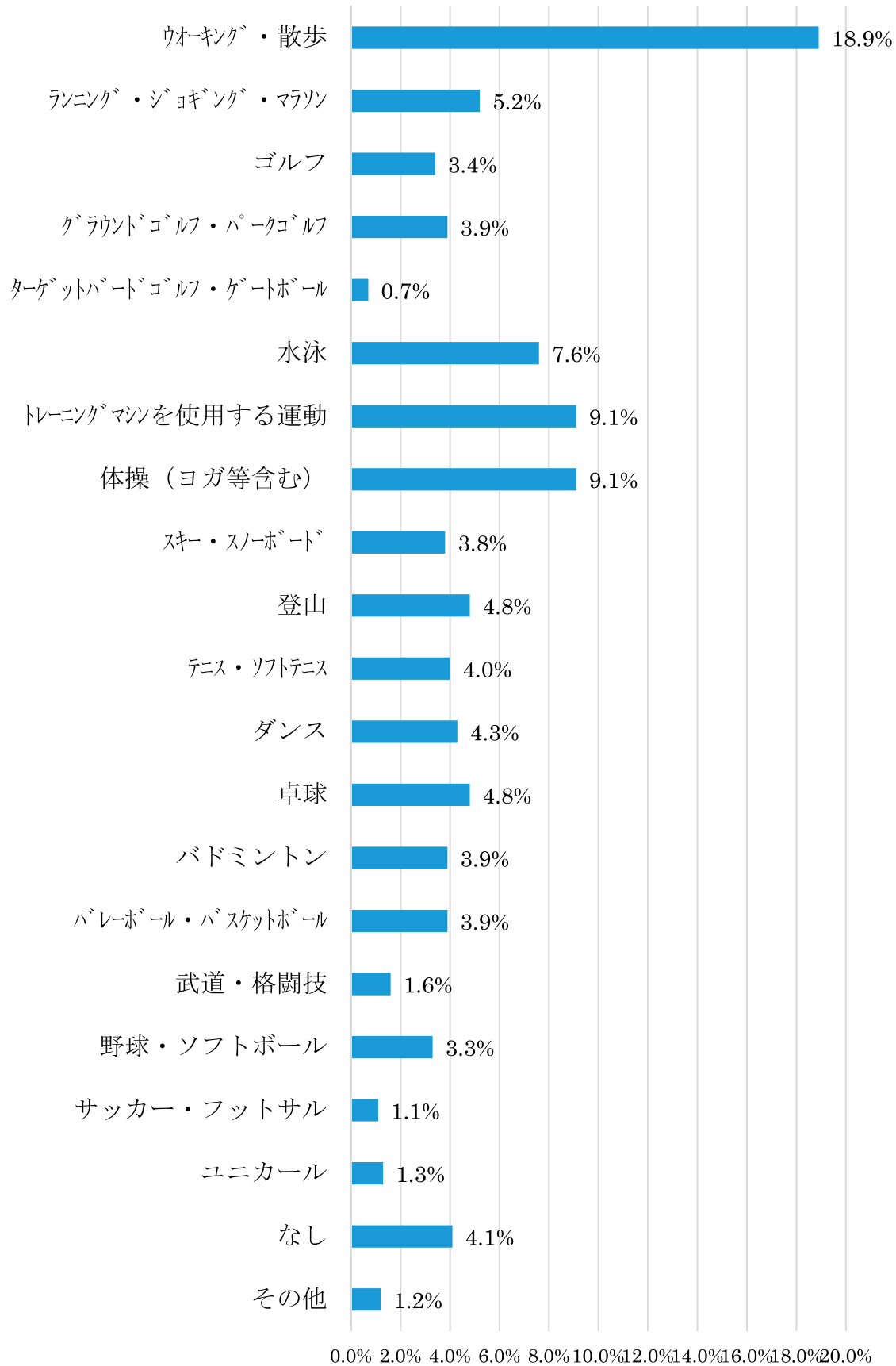
あなたは、現在行っている運動やスポーツに満足していますか。

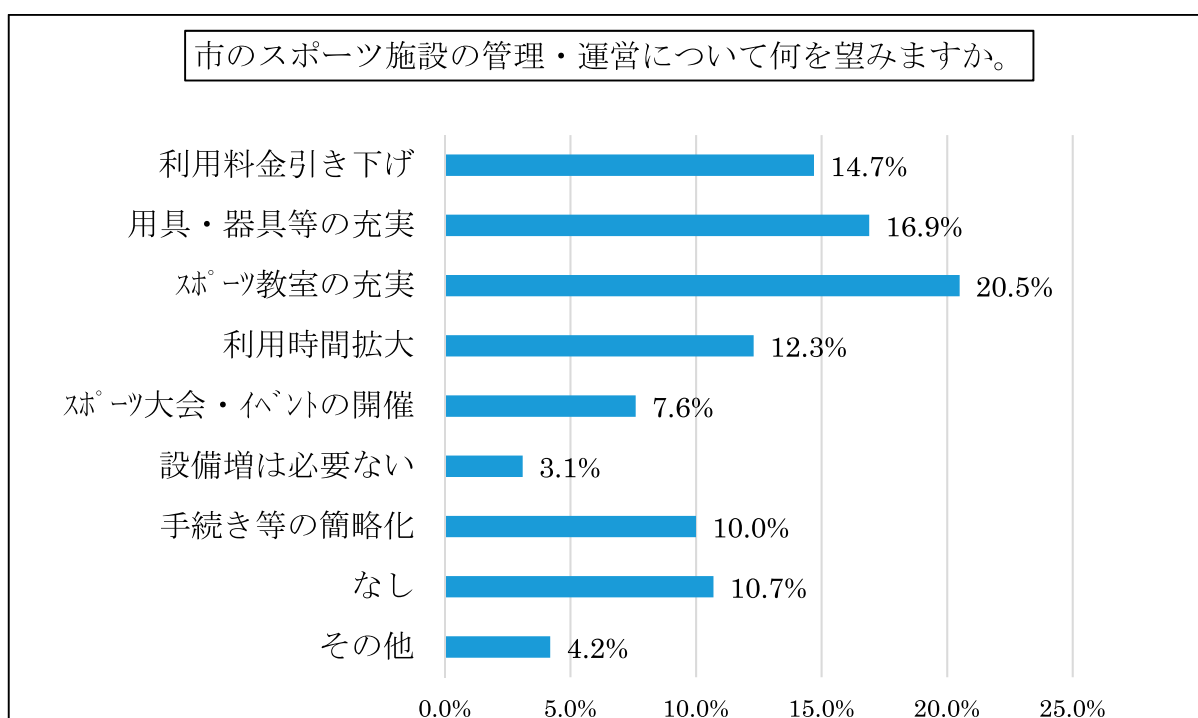
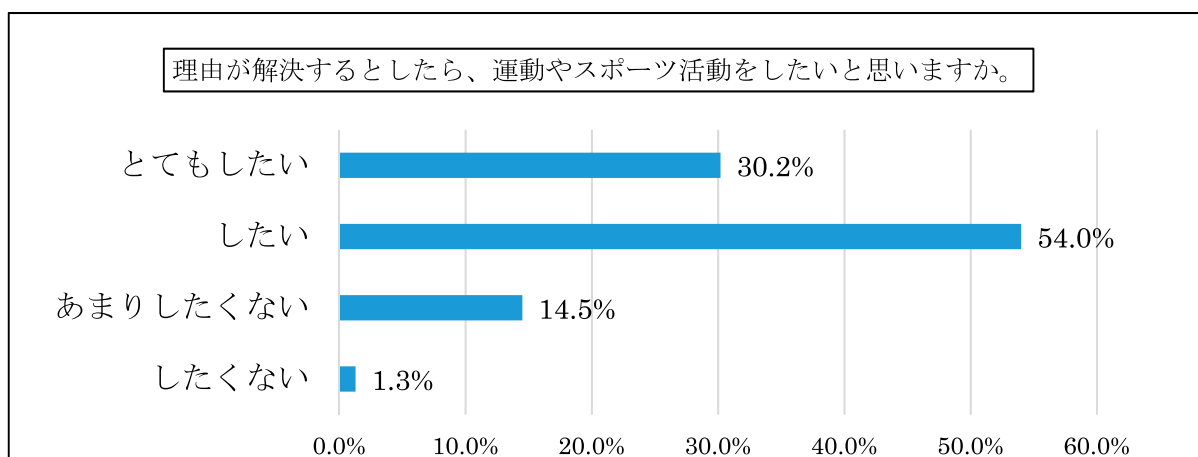
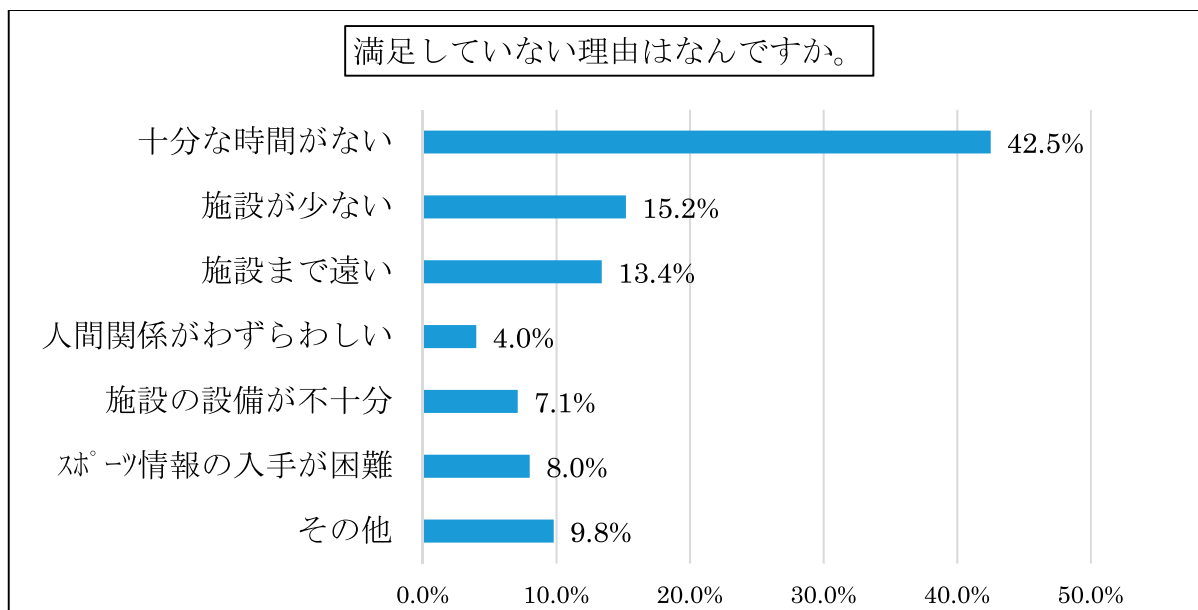


あなたはどのような運動やスポーツ活動をしていますか。

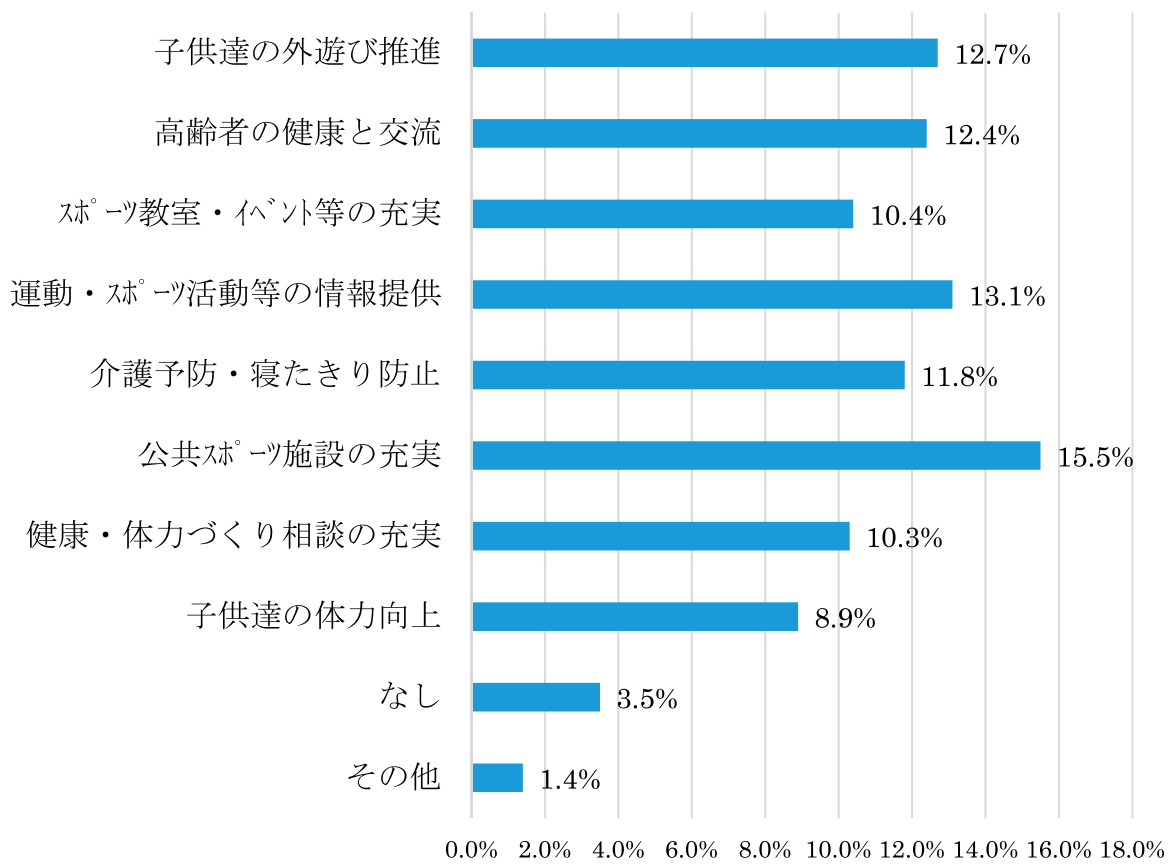


あなたはどのような運動やスポーツ活動をしてみたいですか。





スポーツ振興について今後どのような点に力を入れてほしいですか。



スポーツ推進に関する児童・生徒意識調査結果

1. 調査の目的

北秋田市スポーツ推進計画策定にあたり、北秋田市内の児童・生徒のスポーツに関する考え及び実態を把握することを目的とする。

2. 調査設計

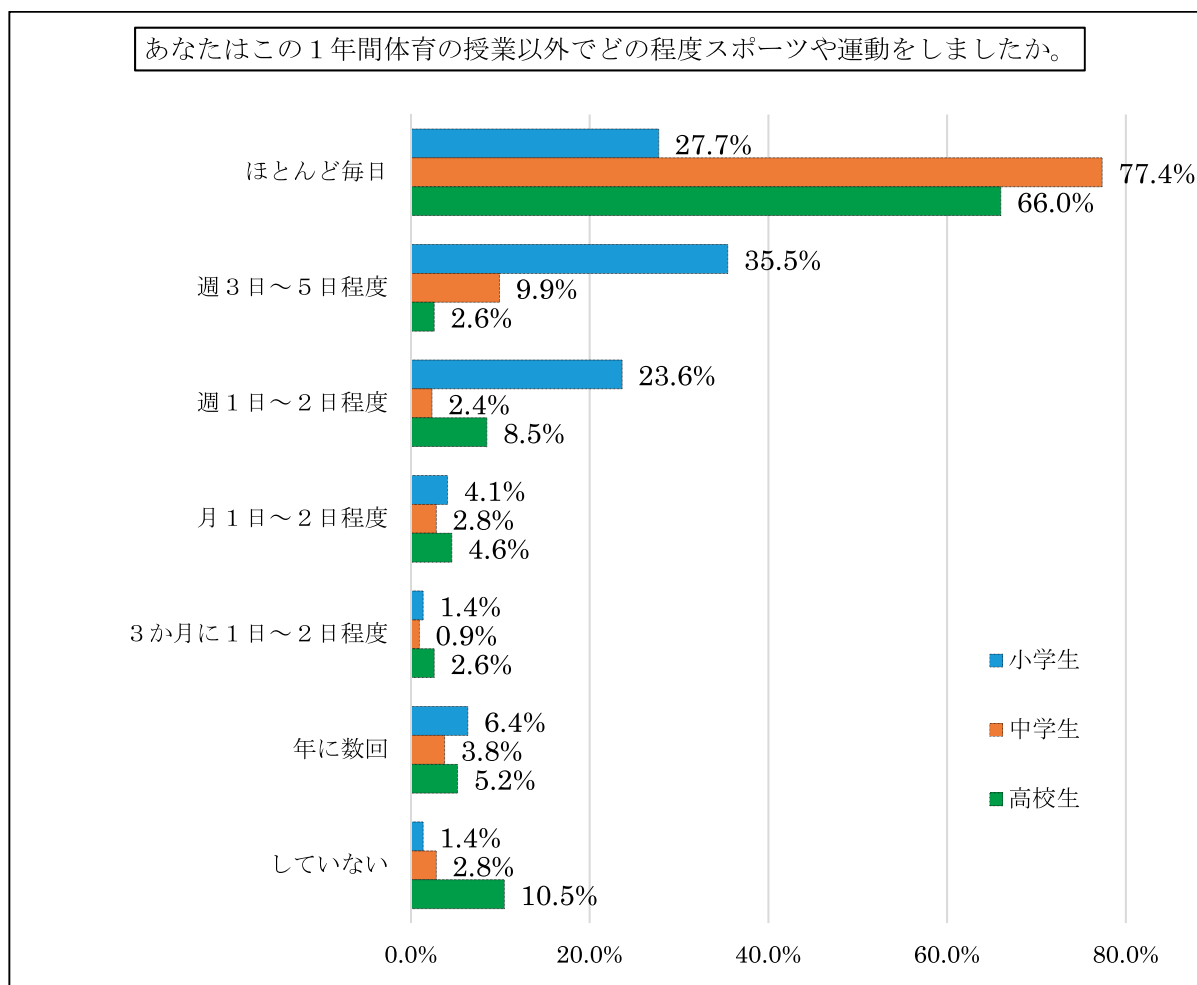
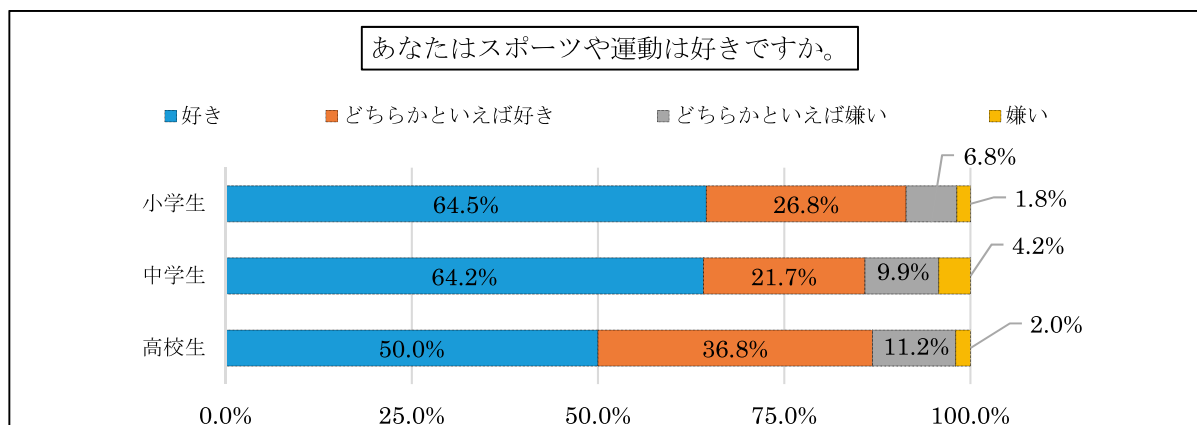
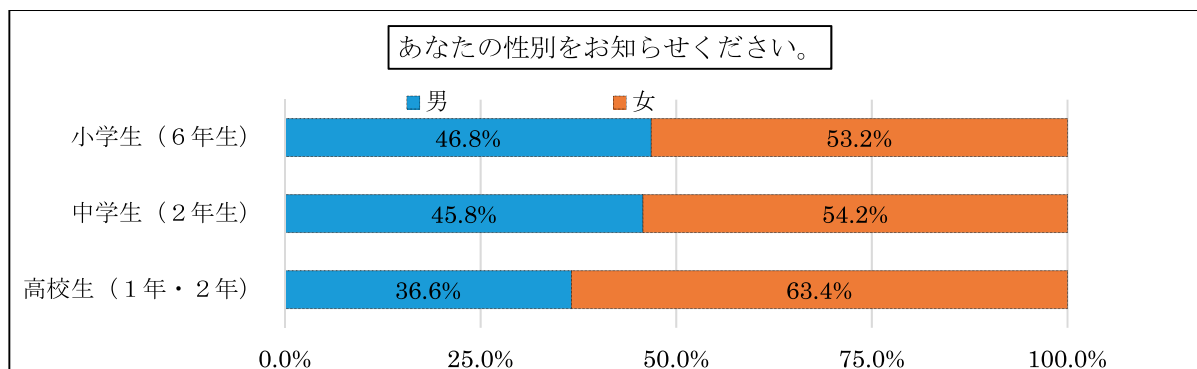
- (1) 調査地域 北秋田市内の小学校・中学校・高等学校
- (2) 調査対象 平成29年度 小学校6年生・中学校2年生・高等学校1・2年生
- (3) 対象者数 604人（小6：227人、中2：224人、高校：153人）
- (4) 抽出方法 小・中学校においては全員、高等学校は1年2年各1クラス
- (5) 調査方法 郵送による調査票配布および回答用紙回収
- (6) 調査期間 平成30年1月15日から平成30年1月31日

3. 回収結果

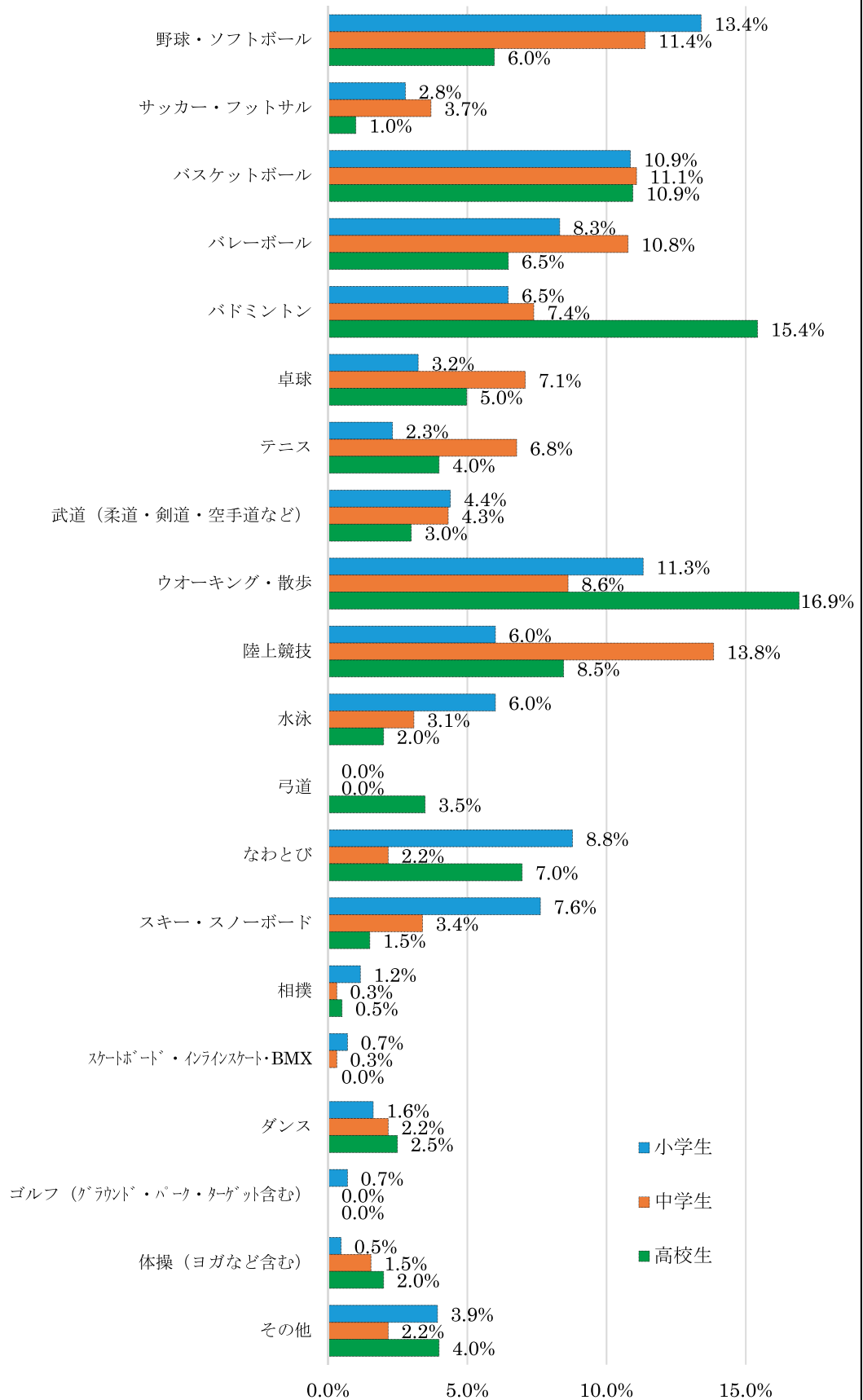
- (1) 回収数 585人
- (2) 回収率 96.9%

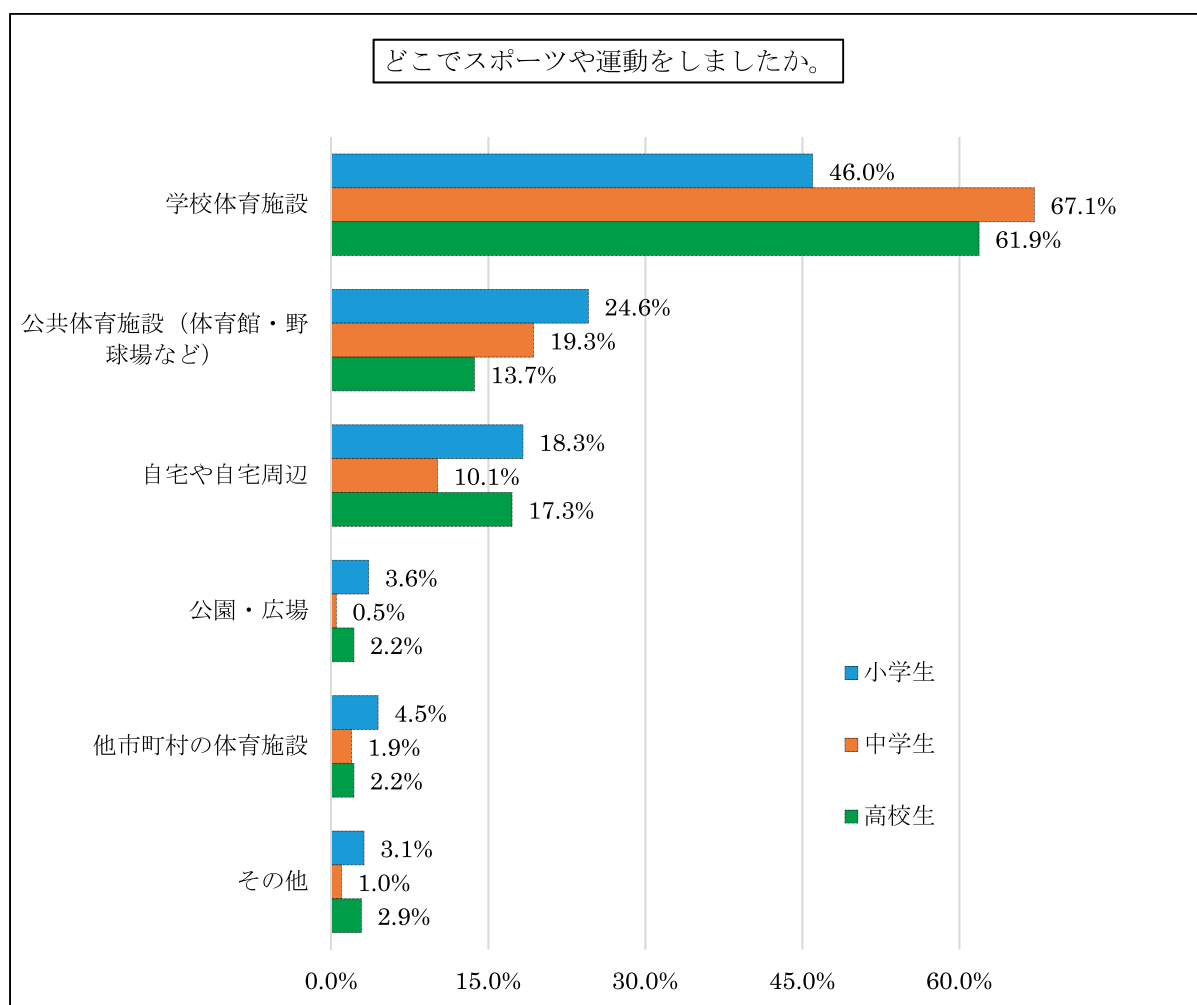
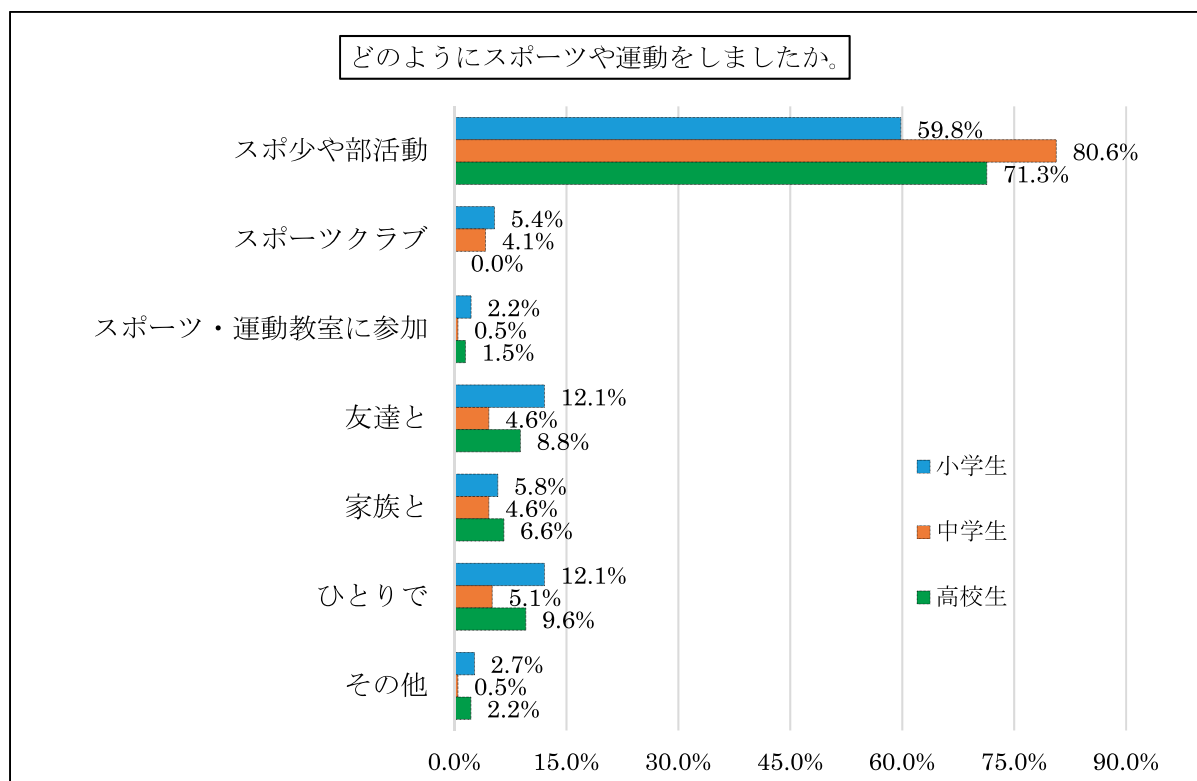
4. 集計方法

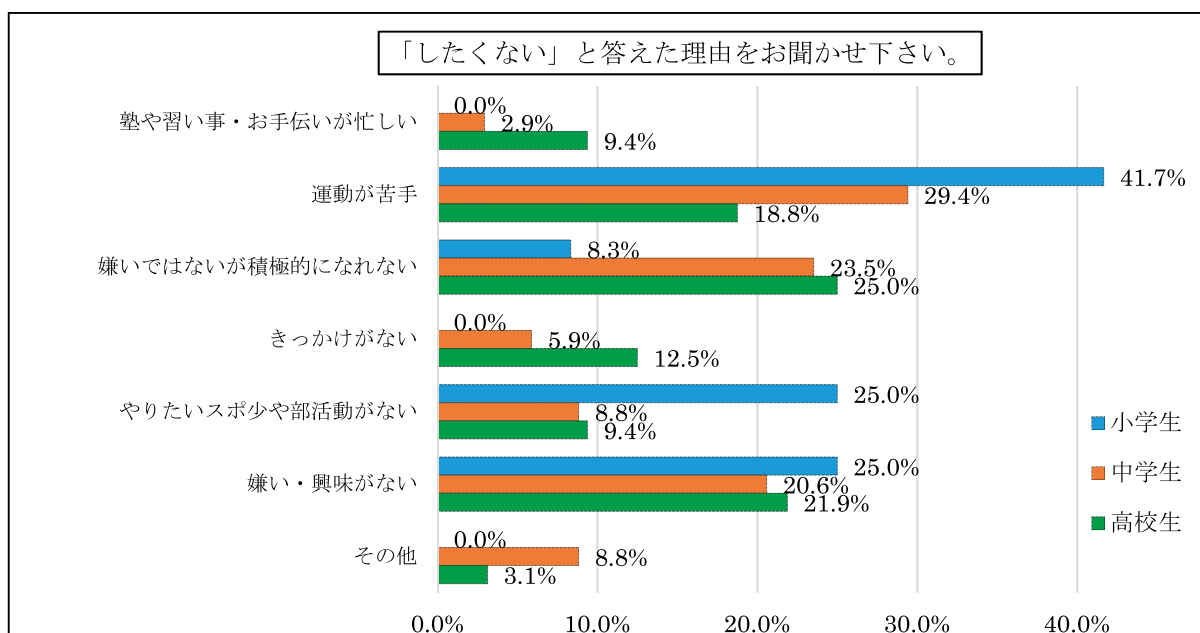
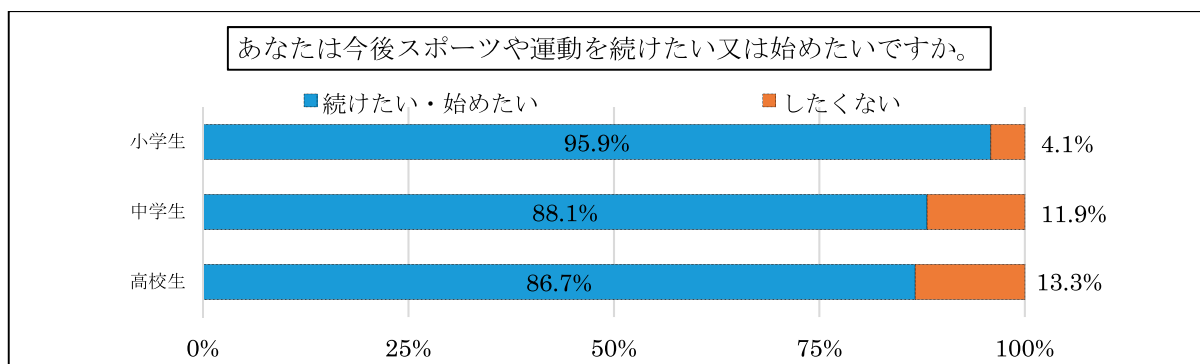
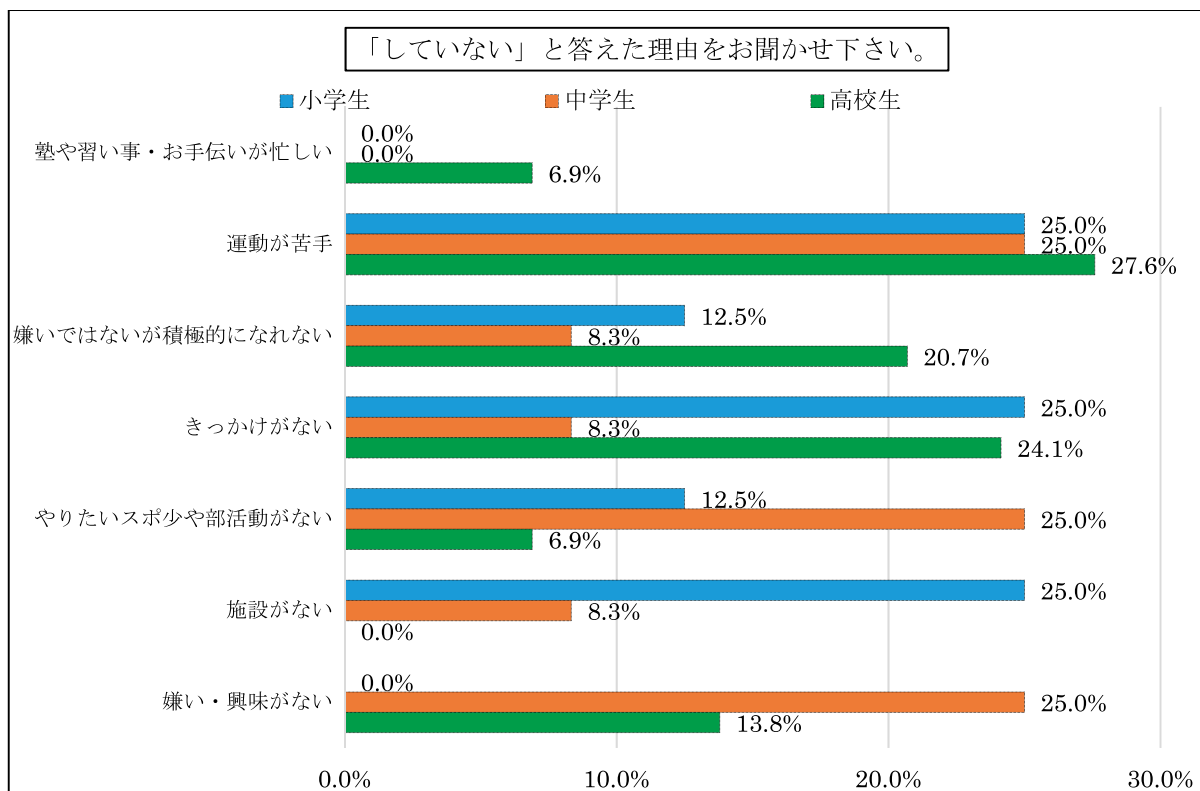
- (1) 集計にあたっては、小数第2位を四捨五入した。
- (2) 各設問の選択項目において、無回答については数値に含めず比率を算出した。
- (3) 回答の百分比(%)は、「回答数」を基数として算出した。複数回答を認める設問においては「回答者数」と「回答数」は必ずしも一致しない。

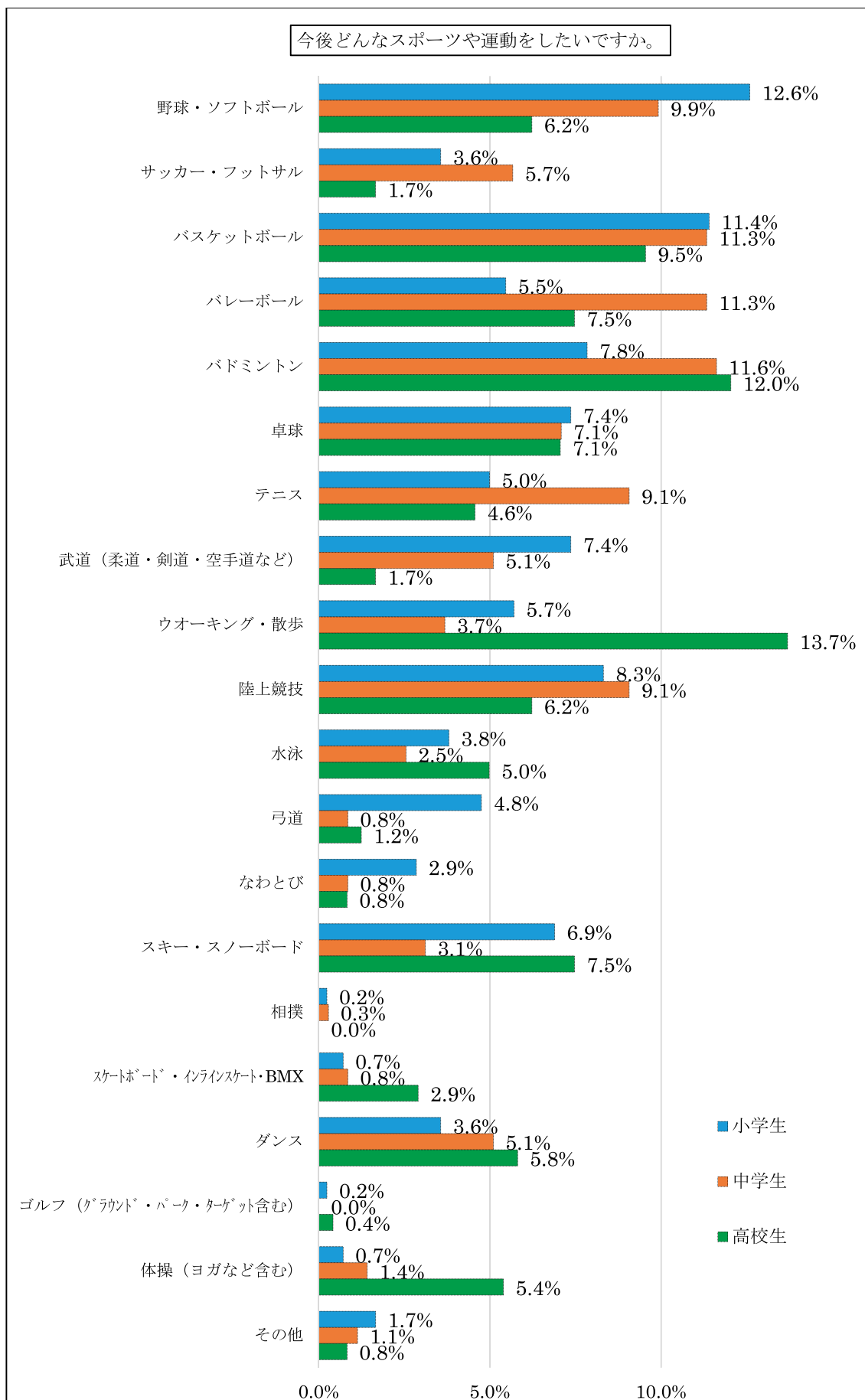


どんなスポーツや運動をしましたか。









北秋田市スポーツ推進計画

発 行	令和 3 年
発行者	北秋田市教育委員会
編 集	北秋田市教育委員会スポーツ振興課 〒018-3331 北秋田市鷹巣字東中岱 1 1 番地 鷹巣体育館内
	TEL 0186-62-3800 FAX 0186-62-3801